

今後のまちづくりのための
『市民アンケート』調査

結果

令和元年 6 月

五 泉 市
企 画 政 策 課

目 次

	頁
I 調 査 概 要.....	1
II 調 査 結 果.....	4
1. 五泉市での住み心地について	5
(1) 五泉市への愛着度	5
(2) 五泉市の住みやすさ	7
(3) 住みやすい理由	9
(4) 住みにくい理由	11
(5) 今後の居住意向	14
(6) 五泉市に住み続ける（戻る）理由	16
(7) 市外への引っ越しを望む理由	18
2. 五泉市が取り組んでいる施策について	20
(1) 暮らしの満足度・重要度	20
(2) 暮らしの満足度と重要度の相関（全 17 項目の比較）	23
3. 結婚・出産・子育てについて	24
(1) 結婚について	24
(2) 出産・子育てについて	32
(3) 若い世代の結婚・出産・子育てについて	37
4. まちづくりに関する自由意見	40
調 査 票 様 式	45

I 調査概要

1 調査の目的

五泉市民の行政施策への満足度や重要度、今後のまちづくりへの意識他を調査し、市が策定する「第2次総合戦略」の基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査の項目

- (1) 対象者属性（性別、年齢、職業、居住地区、居住年数、家族構成）
- (2) 五泉市での住み心地について
- (3) 五泉市で取り組んでいる施策について
- (4) 結婚・出産・子育てについて
- (5) まちづくりに対しての意見（自由回答）

3 調査の設計

- (1) 調査地域：五泉市全域
- (2) 調査対象：満18歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送（配布・回収）による自記式アンケート
- (6) 調査期間：平成31年2月20日（水）～3月5日（火）

4 集計・分析にあたって

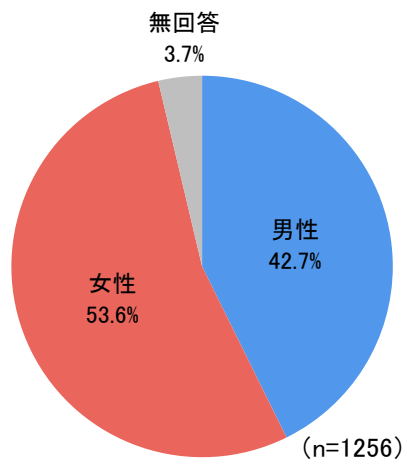
- (1) 図表中の「n（number of cases の略）」とは、回答者総数（該当者質問では該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 本文及び図表中の「比率（%）」は小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5 回収結果

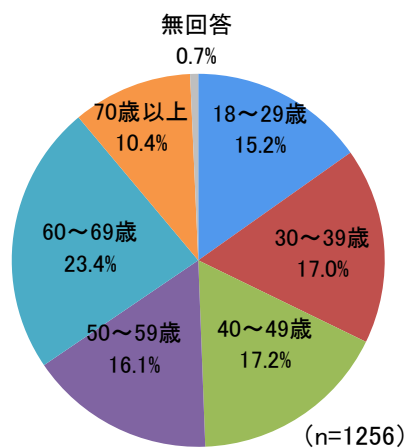
有効回収数 1,256（有効回収率 41.9%）

6 回答者の構成

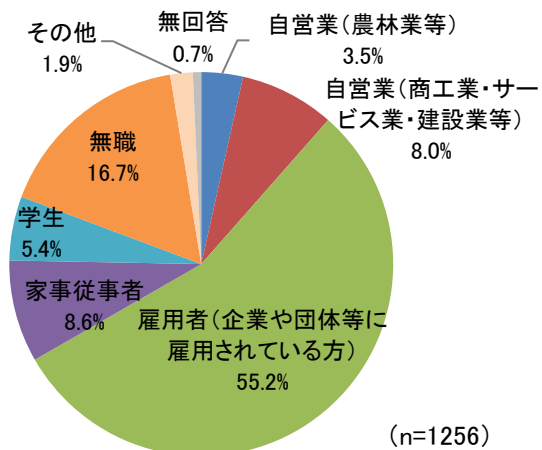
◆ 性別



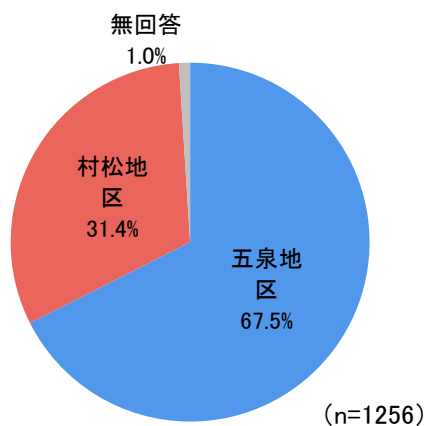
◆ 年齢



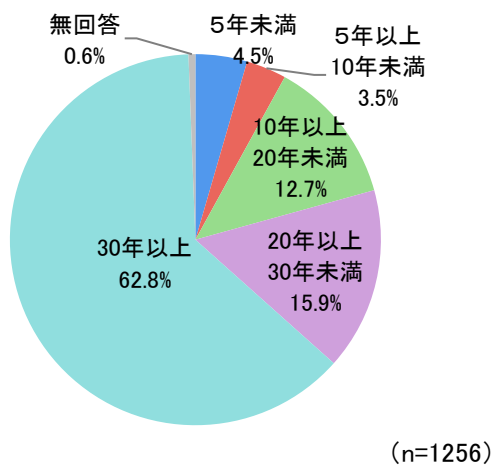
◆ 職業



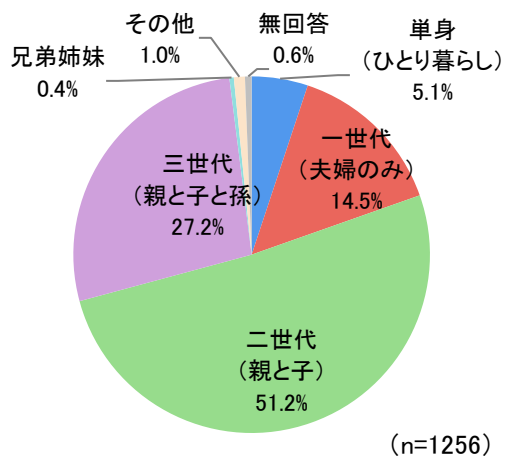
◆ 居住地区



◆ 居住年数



◆ 家族構成



Ⅱ 調査結果

1. 五泉市での住み心地について

(1) 五泉市への愛着度

問 7. あなたは、五泉市に愛着を感じていますか？（1 つだけ回答）

8割近くが市への愛着を持つ

【全体結果】

「ある程度愛着を感じている」と回答したのが 6 割強で、「強い愛着を感じている」を合わせると、8 割近くが五泉市への愛着を感じている。

一方、「あまり愛着を感じていない」と「愛着を感じていない」を合わせると、2 割強となる。

【前回との比較】

前回と比べて、「強い愛着を感じている」と「ある程度愛着を感じている」が減少し、「あまり愛着を感じていない」と「愛着を感じていない」が増加している。

【性別】

性別でみると、男性で「強い愛着を感じている」が女性よりも高い。

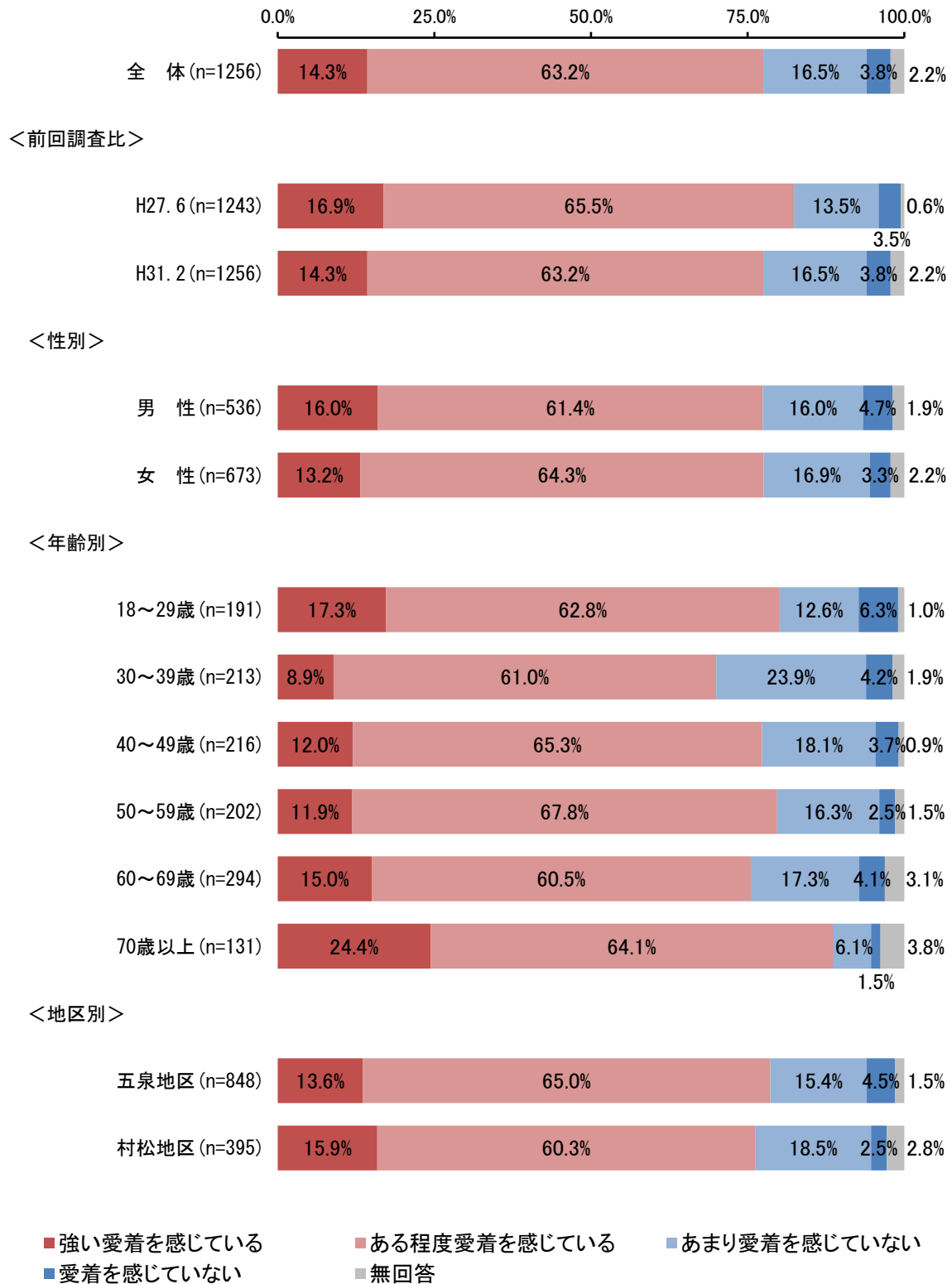
【年齢別】

年齢別でみると、70 代以上で「強い愛着を感じている」が突出して高く、「ある程度愛着を感じている」を合わせると、9 割近くなる。

一方、30 代は他の年代に比べて、「強い愛着を感じている」と「ある程度愛着を感じている」が低い。

【居住地区別】

居住地別では、両地区とも「ある程度愛着を感じている」と「強い愛着を感じている」を合わせると、8 割近くなる。



(2) 五泉市の住みやすさ

問 8. あなたは、五泉市は住みやすい市だと思いますか？（1 つだけ回答）

『住みやすい』が約6割を占める

【全体結果】

「どちらかと言えば住みやすい」と回答したのが約半数で、「とても住みやすい」を合わせると、全体の約 6 割が住みやすいと感じている。

「やや住みにくい」は全体の 3 割弱で、「とても住みにくい」を合わせると、3 割強が住みにくいと感じている。

【前回との比較】

前回と比べて、「とても住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」が減少し、「やや住みにくい」と「とても住みにくい」が増加している。

【性別】

性別では、女性で「住みやすい」とする意向が男性よりも高い。

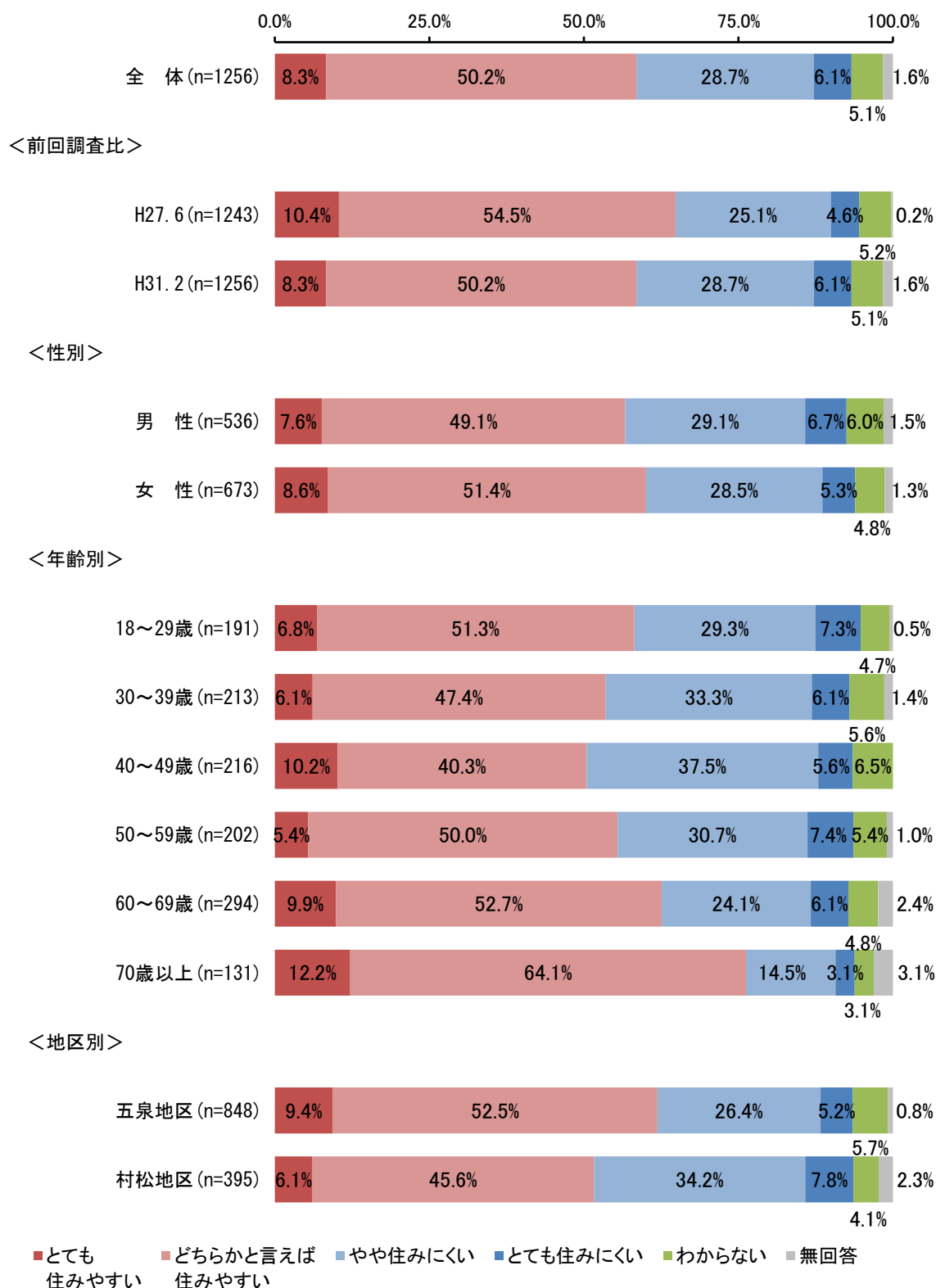
【年齢別】

年齢別でみると、70 代以上で「どちらかといえば住みやすい」が突出して高く、「とても住みやすい」を合わせると、8 割近くなる。

40 代は「やや住みにくい」と「とても住みにくい」を合わせた割合が最も高い。

【居住地区別】

居住地別では、五泉地区で「住みやすい」との回答が、村松地区よりも高い。



(3) 住みやすい理由

問 9-1. 住みやすいと感じる理由は何ですか？（3 つまで回答）

※問 8 で、1 または 2 を選んだ方

『住みやすい』と感じている人の主な理由は 「自然の豊かさ」や「災害の少なさ」

【全体結果】

全該当者では、「自然が豊か」と「災害が少ない」が 6 割台で突出している。以下、「犯罪が少ない」が 3 割台、「農林水産物に恵まれ食が豊か」が 2 割台で続く。

【性別】

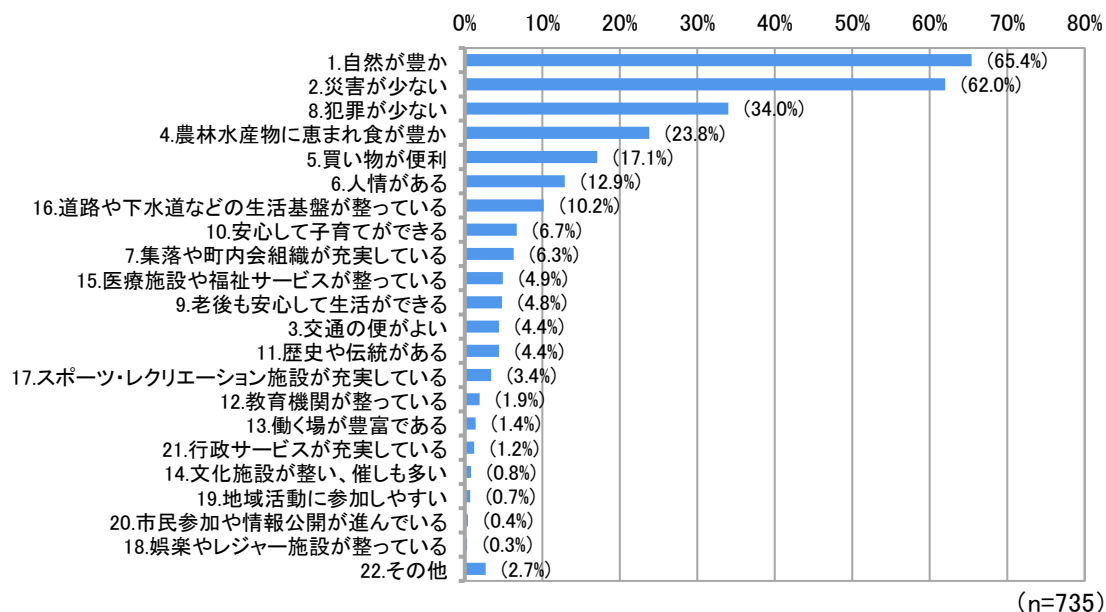
性別では、特に大きな差はみられない。

【年齢別】

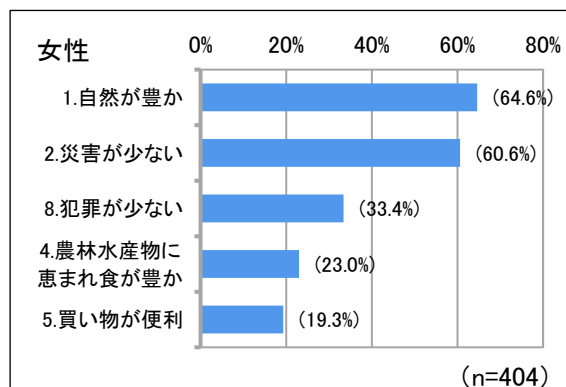
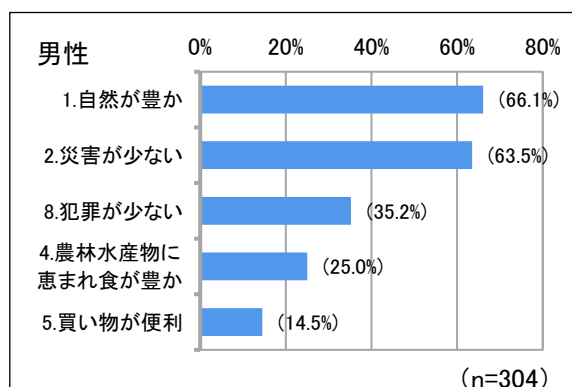
年齢別でみると、30 代以下と 50 代は「自然が豊か」が最も多く、40 代と 60 代以上は「災害が少ない」が最も多い。

【居住地区別】

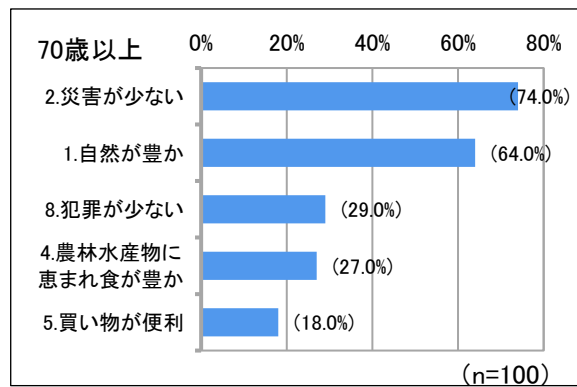
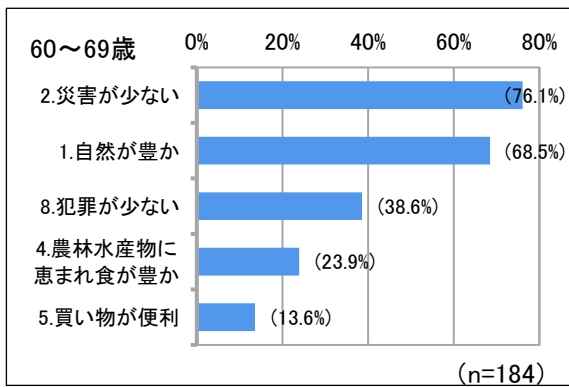
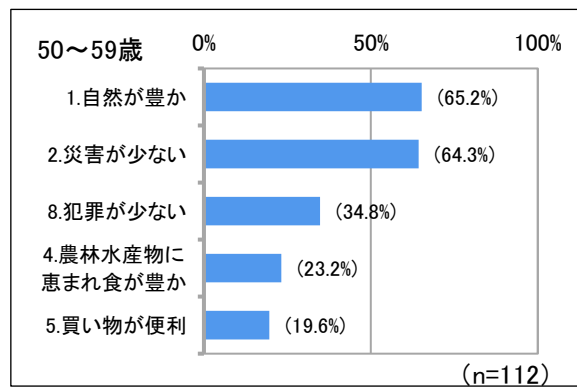
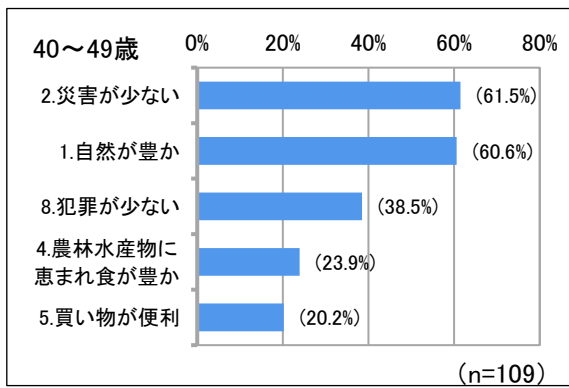
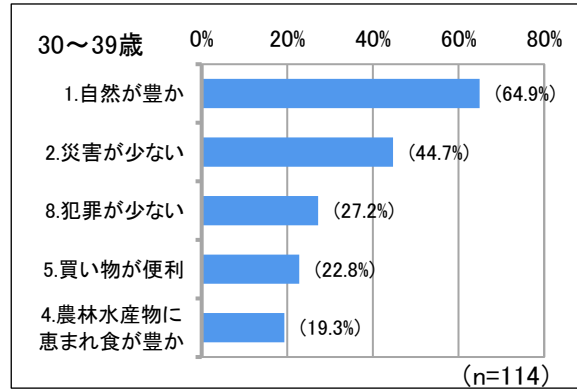
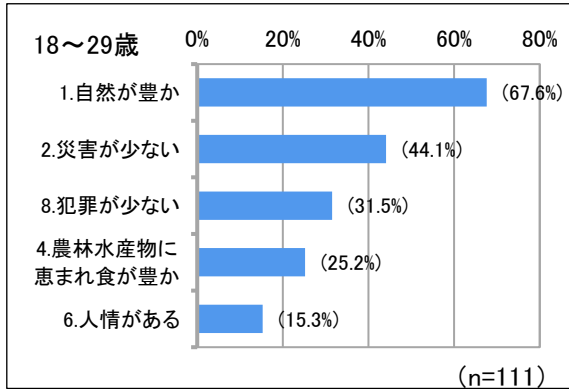
居住地区別では、五泉地区では「災害が少ない」が最も多く、村松地区では「自然が豊か」が最も多い。



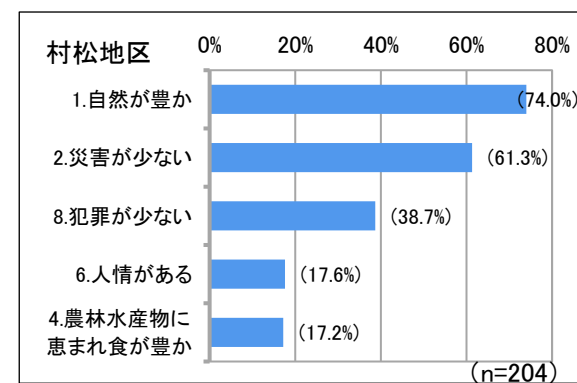
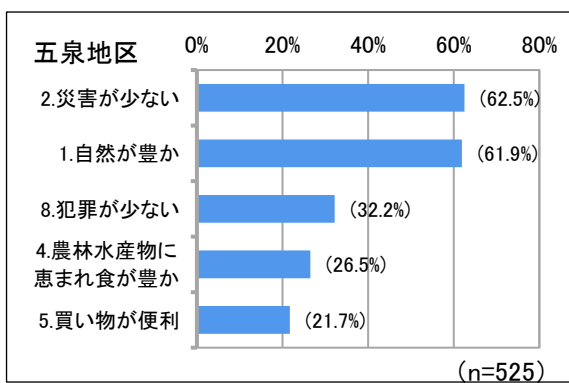
<性別>



<年齢別>



<居住地区別>



(4) 住みにくい理由

問 9-2. 住みにくいとを感じる理由は何ですか？（3 つまで回答）

※問 8 で、3 または 4 を選んだ方。

『住みにくい』と感じている人の主な理由は 「交通の利便性の悪さ」や「雇用の場の少なさ」

【全体結果】

全該当者では、「交通の便がよくない」が 7 割台で最も多く、「魅力ある働く場が少ない」が 4 割台でこれに続いている。

以下、「老後の生活が不安である」が 3 割台、「買い物に不便である」「娯楽やレジャー施設が少ない」が 2 割台で続く。

【性別】

性別でみると、男女ともに「交通の便がよくない」が最も多く、特に女性は 7 割以上を占めている。

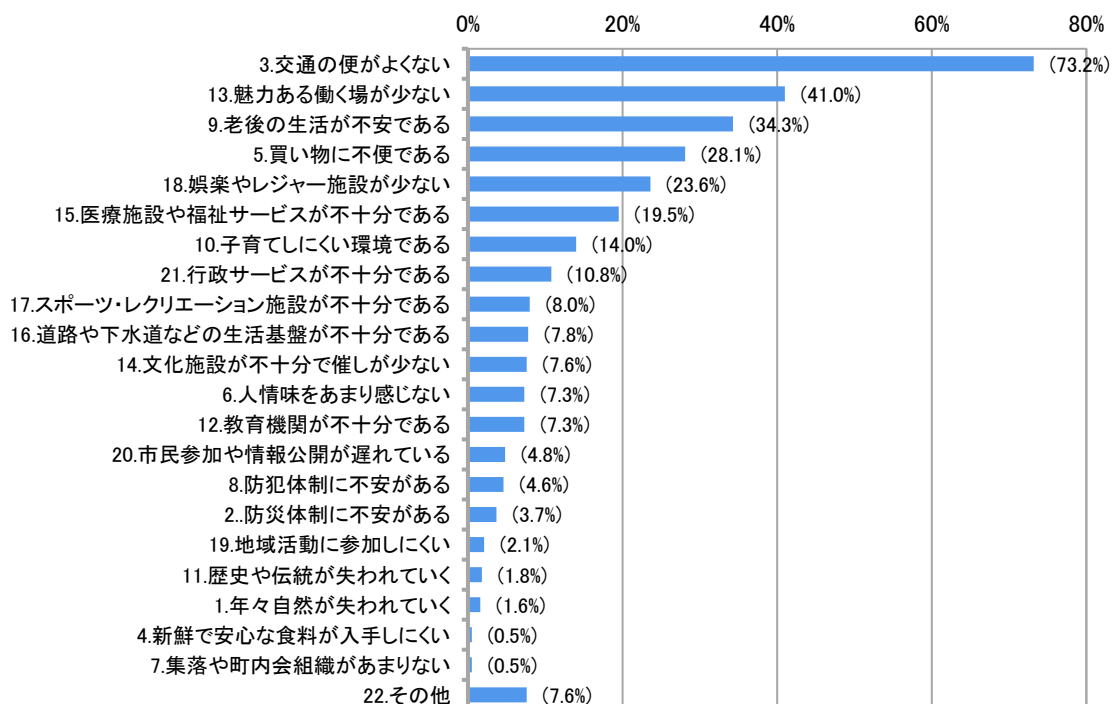
【年齢別】

各年代で「交通の便がよくない」が最も多く、次いで、50 代以下では「魅力ある働く場が少ない」、60 代以上では「老後の生活が不安である」が多い。

また、40 代以下では「娯楽やレジャー施設が少ない」、70 代以上では「医療施設や福祉サービスが不十分である」が 3 割以上となっている。

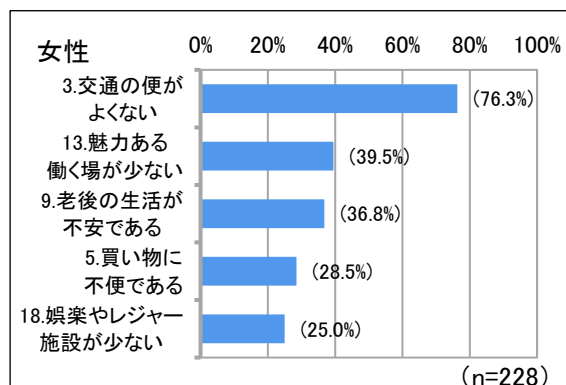
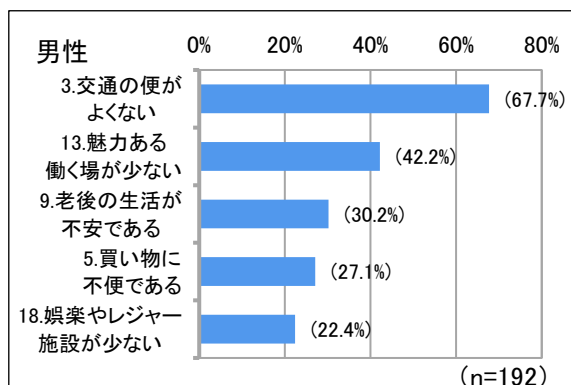
【居住地区別】

居住地別では、村松地区で「交通の便がよくない」が高く、五泉地区を上回っている。

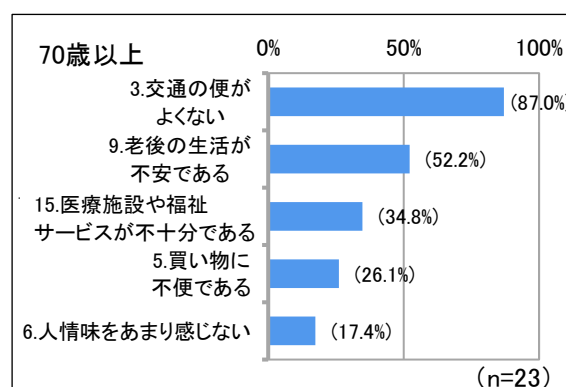
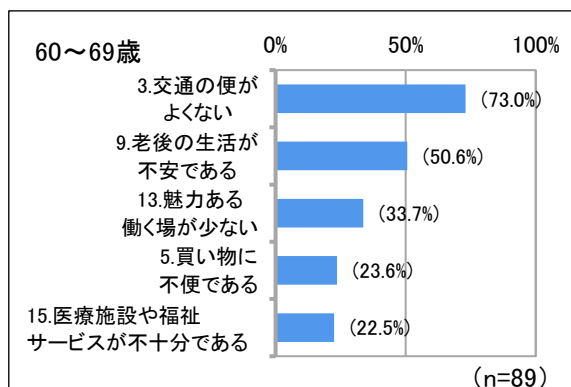
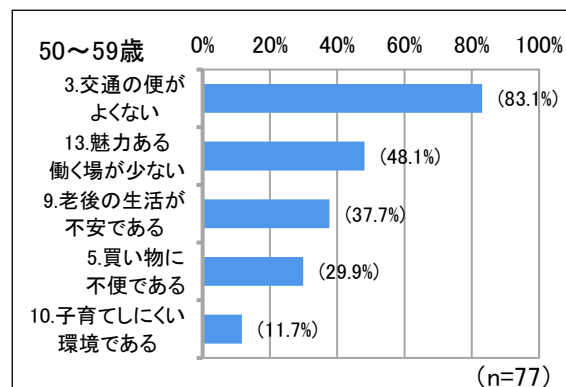
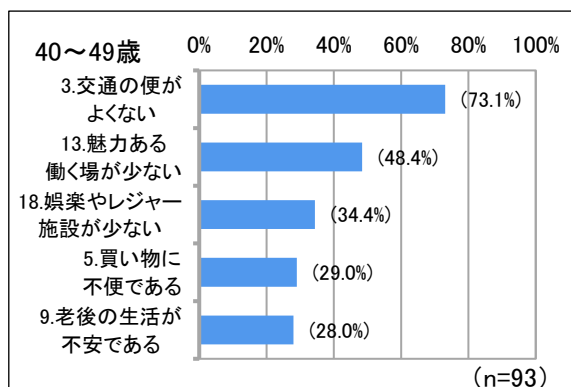
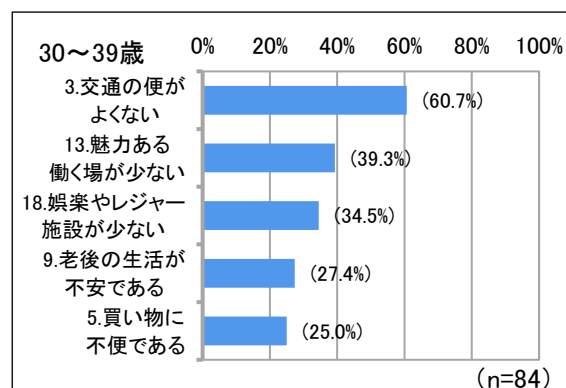
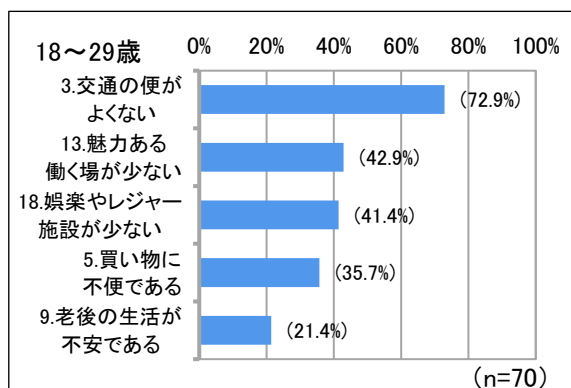


(n=437)

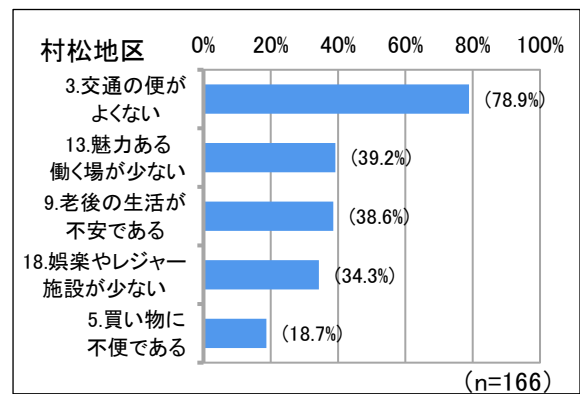
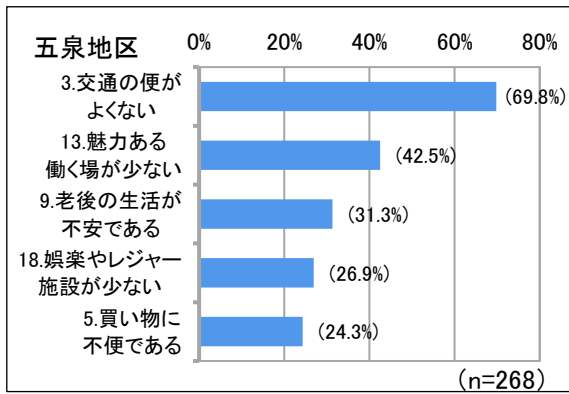
<性別>



<年齢別>



<居住地区別>



(5) 今後の居住意向

問 10. これからも五泉市に住みたいと思いますか？（1 つだけ回答）

8割強は今後とも居住意向を有する

【全体結果】

「これからもずっと住みたい」と回答したのが半数弱で、「当分は住みたい」を合わせると、全体の 8 割強が住みたいと感じている。

【前回との比較】

前回と比べると、「これからもずっと住みたい」が若干減少し、「当分は住みたい」が若干増加している。

【性別】

性別では、特に大きな差はみられない。

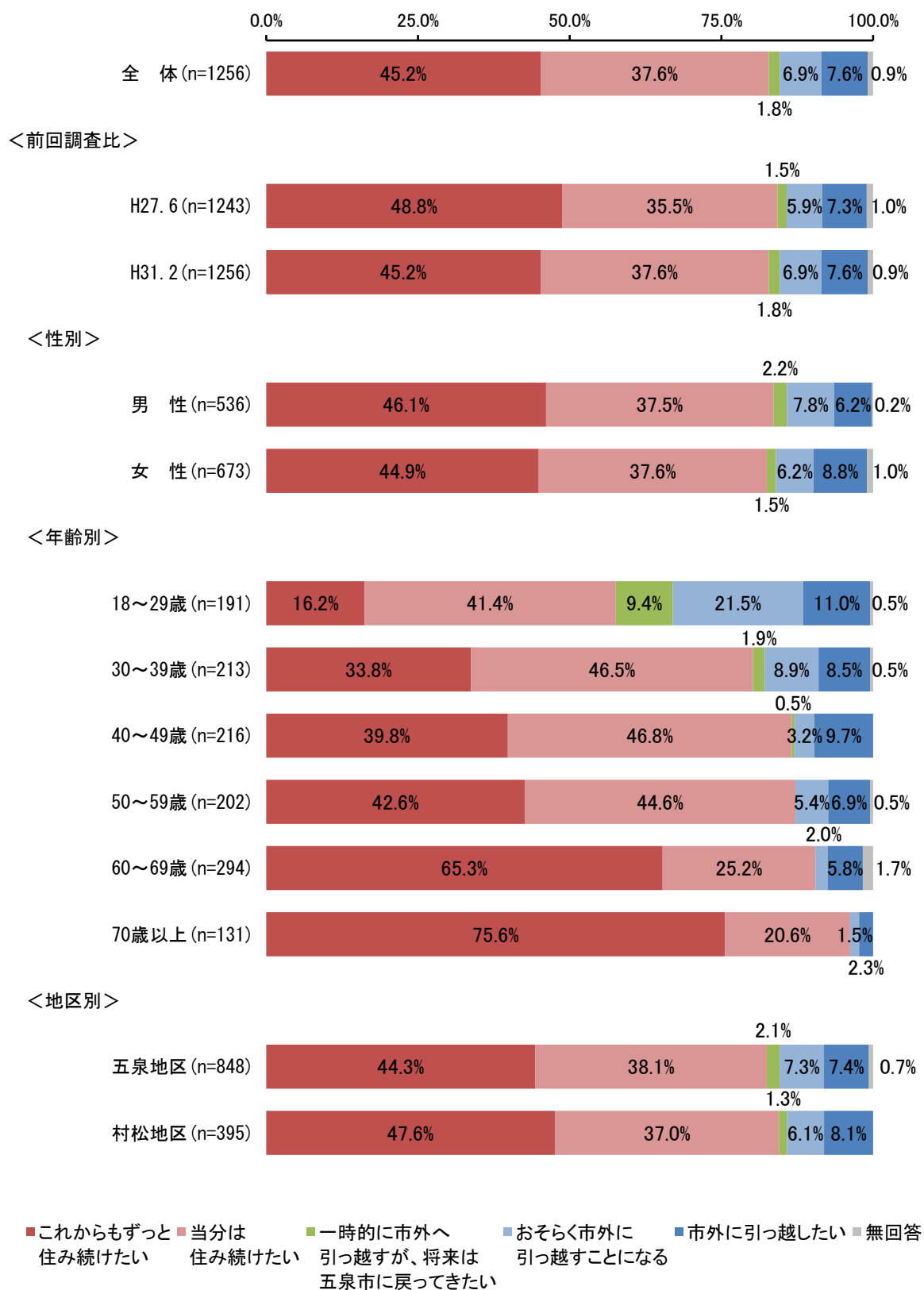
【年齢別】

60 代以上で「これからもずっと住みたい」が高く、「当分は住みたい」を合わせると、9 割を超える。

一方で、20 代以下は「おそらく市街に引っ越すことになる」「市外に引っ越したい」が 3 割強で、他年代よりも多い。

【居住地区別】

居住地別では、村松地区の「住みたい」とする比率が五泉地区を上回る。



(6) 五泉市に住み続ける（戻る）理由

問 11- 1. 住み続けたい、戻ってきたい理由は何ですか？（1 つだけ回答）

※問 10 で、1～3 を選んだ方

『住み続けたい・戻ってきたい』と思っている人のその理由の半数は
「土地や家があるから」

【全体結果】

「住み続けたい・戻ってきたい」と思っている人の理由としては、「土地や家があるから」が最も多く、約半数を占める。

以下、「家族がいるから」「現在の生活に満足しているから」が 2 割弱で続く。

【前回との比較】

前回との比較では、特に大きな差はみられない。

【性別】

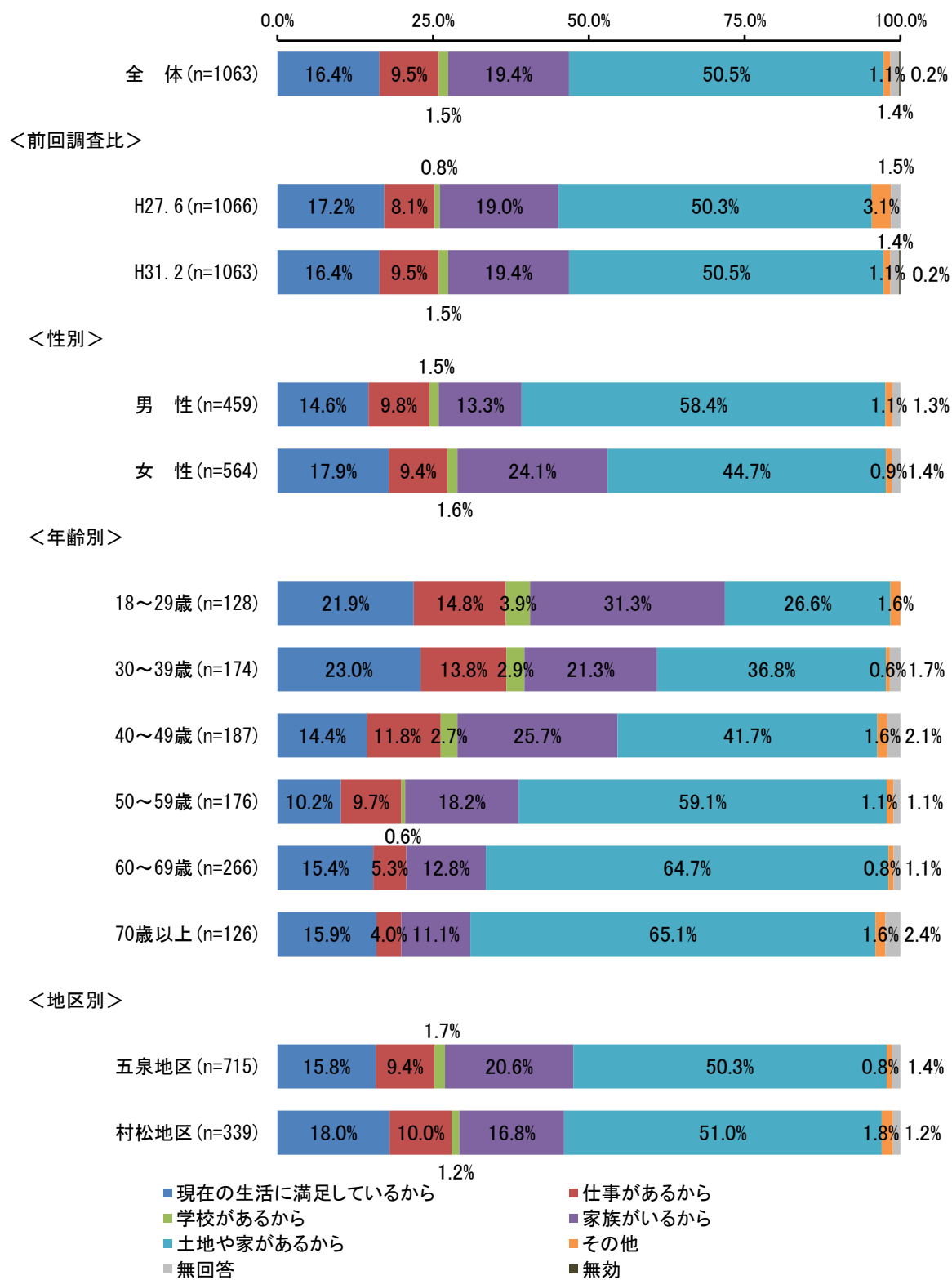
性別では、男性で「土地や家があるから」が女性を大きく上回り、女性は「家族がいるから」と「現在の生活で満足しているから」が男性を大きく上回る。

【年齢別】

年齢が高くなるにつれ、「土地や家があるから」とする比率が高くなり、60 代以上は 6 割台となる。

【居住地区別】

居住地別では、特に大きな差はみられない。



(7) 市外への引っ越しを望む理由

問 11-2. 市外に引っ越す理由は何ですか？（1 つだけ回答）

市外に引っ越す理由は「現在の生活に不満があるから」

【全体結果】

「引っ越す予定・引っ越したい」と思っている人の理由としては、「現在の生活に不満があるから」が最も多く、4 割強を占める。

以下、「市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから」が 3 割弱で続く。

【前回との比較】

前回との比較では、特に大きな差はみられない。

【性別】

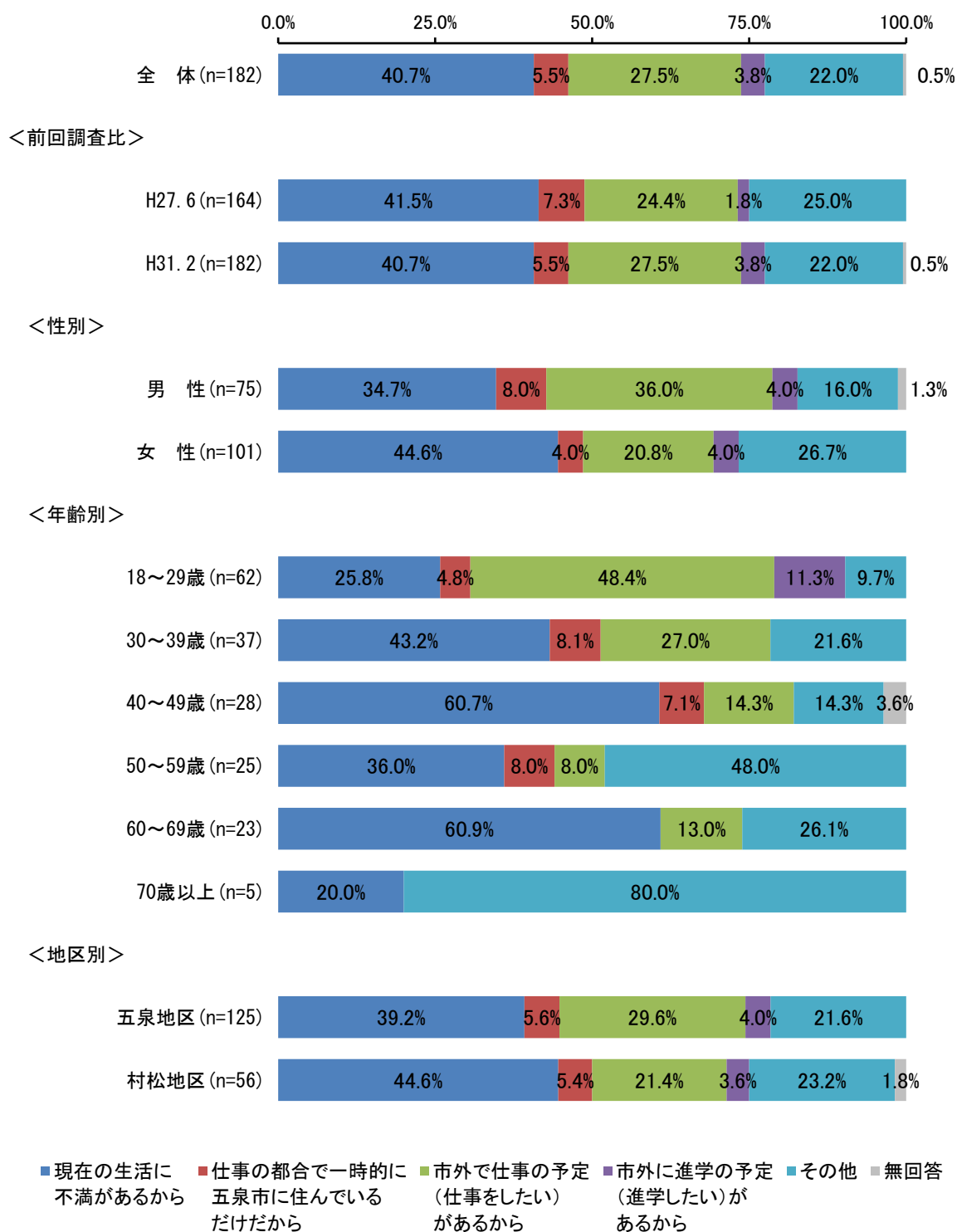
性別では、男性は「市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから」が最も多く、女性は「現在の生活に不満があるから」が最も多い。

【年齢別】

※サンプルが少数のため分析なし。

【居住地区別】

居住地別では、五泉地区は「市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから」が村松地区よりも高く、村松地区は「現在の生活に不満があるから」が五泉地区を上回る。



2. 五泉市が取り組んでいる施策について

(1) 暮らしの満足度・重要度

問 12. 基本目標Ⅰ「未来世代を守り育てる」について

問 13. 基本目標Ⅱ「産業の活力を高める」について

問 14. 基本目標Ⅲ「五泉の魅力をつなげる」について

問 15. 基本目標Ⅳ「確かな暮らしを充たす」について

五泉市では、4つの柱（目標）に沿って人口減少対策に取り組んでいます。

各施策に関して、現在の「①満足度」と今後の「②重要度」についてあてはまるものをそれぞれ1つずつ○をつけてください。

※本章『五泉市が取り組んでいる施策について』では、全 17 分野の「現在の満足度」と「今後の重要度」の回答肢に下表に示す点数を与え、加重平均（満足度平均点・重要度平均点）も算出した。

現在の満足度		今後の重要度（重要性）	
1 満足	2 点	1 重要	2 点
2 やや満足	1 点	2 やや重要	1 点
4 やや不満	-1 点	4 あまり重要でない	-1 点
5 不満	-2 点	5 重要でない	-2 点
無回答（不明）	除外	無回答（不明）	除外

〔算出方法〕

$$\begin{aligned}
 & (\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「やや満足」の回答者数} \times 1) \\
 & + (\text{「やや不満」の回答者数} \times -1) + (\text{「不満」の回答者数} \times -2)
 \end{aligned}$$

$$\text{満足度平均点} = \frac{\text{（上記の数値の合計）}}{\text{（回答者総数} = n \text{）} - \text{（「無回答」の人数）}}$$

$$\begin{aligned}
 & (\text{「重要」の回答者数} \times 2) + (\text{「やや重要」の回答者数} \times 1) \\
 & + (\text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -1) + (\text{「重要でない」の} \\
 & \text{回答者数} \times -2)
 \end{aligned}$$

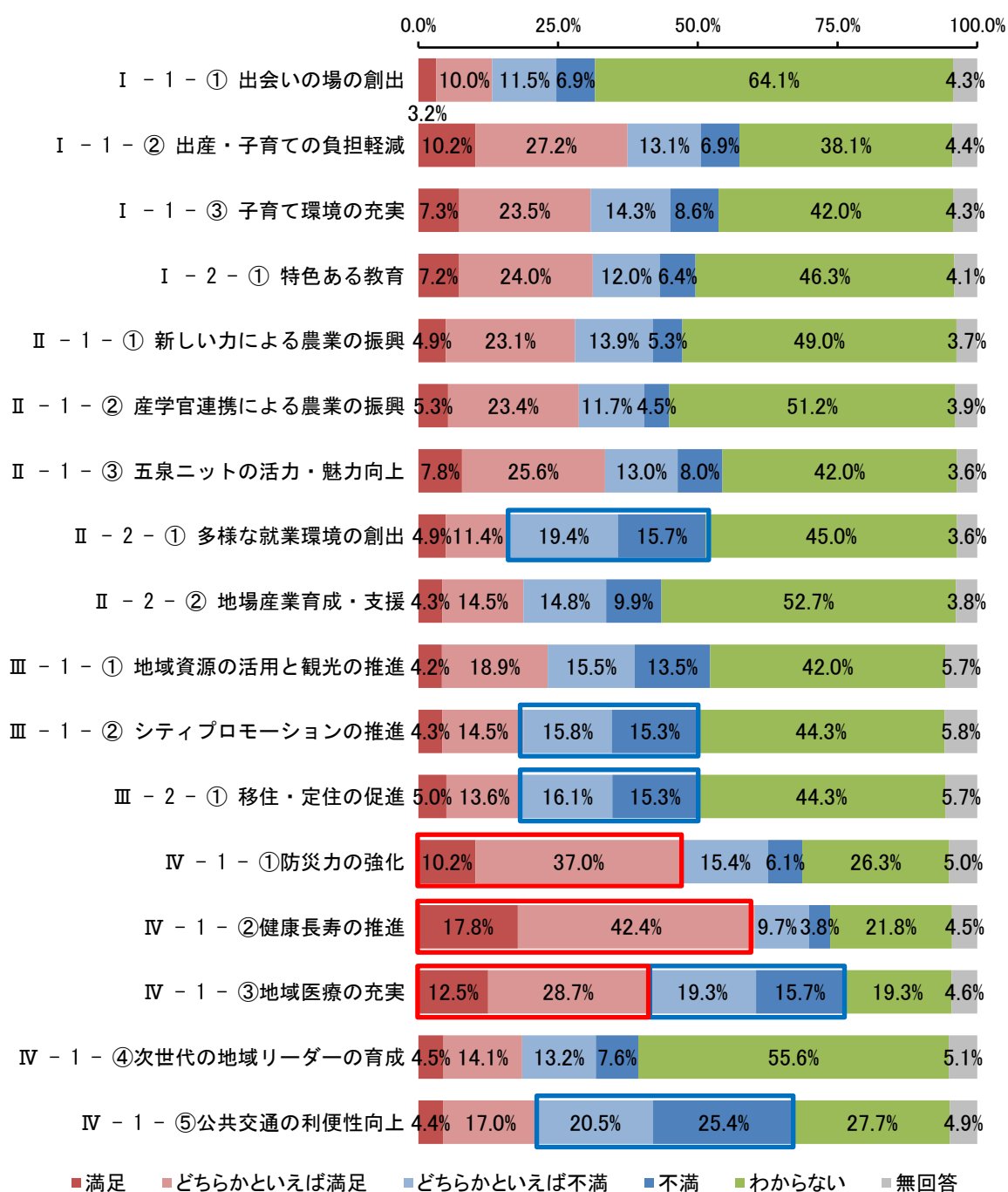
$$\text{重要度平均点} = \frac{\text{（上記の数値の合計）}}{\text{（回答者総数} = n \text{）} - \text{（「無回答」の人数）}}$$

<満足度>

最も満足度が高いのは「健康長寿の推進」、
最も低いのは「公共交通の利便性向上」

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足度』では、「健康長寿の推進」が6割強で最も多く、「防災力の強化」、「地域医療の充実」が4割台で続く。

「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満度』では、「公共交通の利便性向上」が4割台で最も多く、「多様な就業環境の創出」、「地域医療の充実」、「移住・定住の促進」、「シティプロモーションの推進」が3割台でこれに続く。

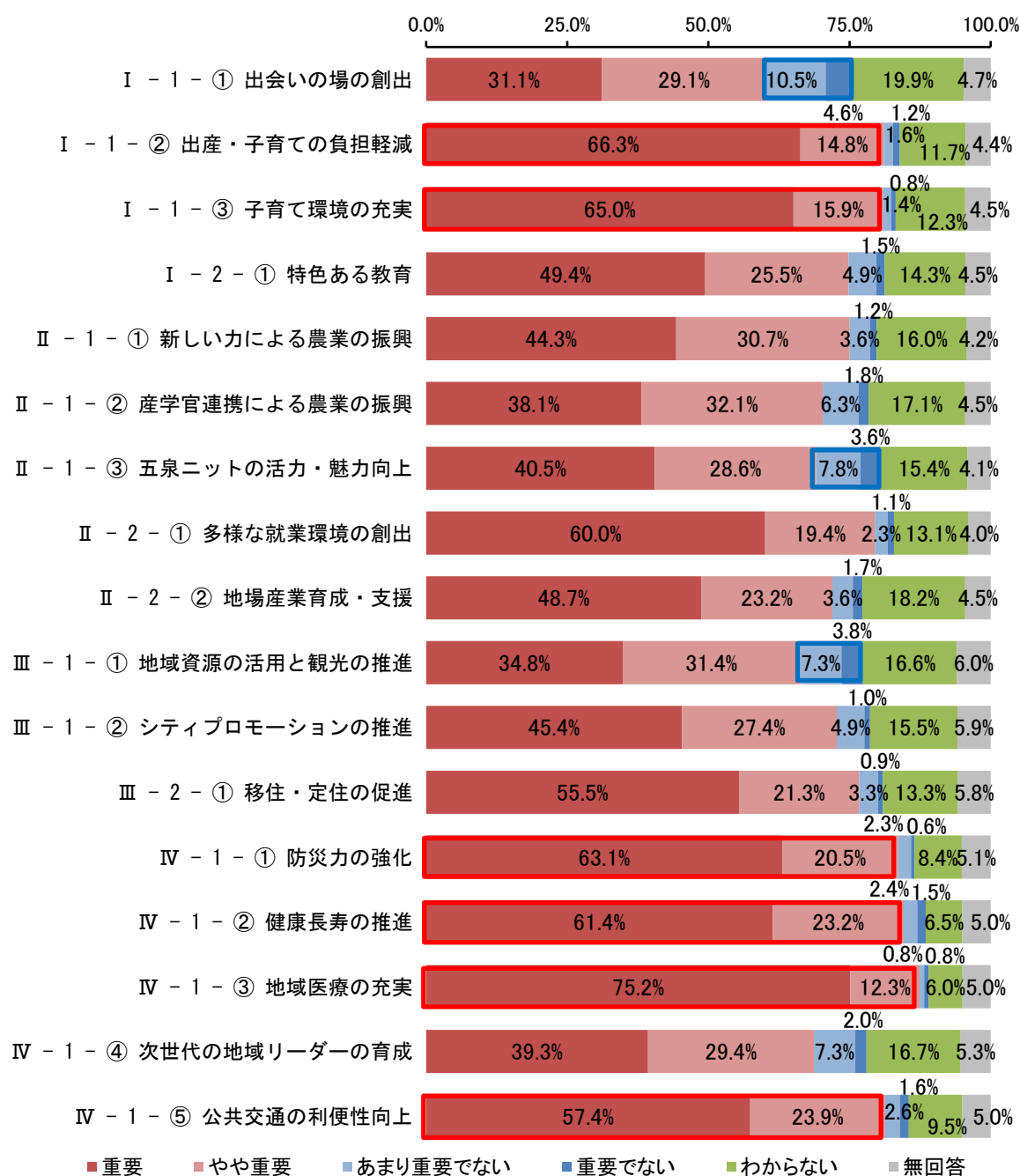


<重要度>

最も重要度が高いのは「地域医療の充実」、
最も低いのは「出会いの場の創出」

「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要度』では、「地域医療の充実」が最も高く、「健康長寿の推進」、「防災力の強化」、「公共交通の利便性向上」、「出産・子育ての負担軽減」、「子育て環境の充実」などがいずれも8割強で続く。

「重要でない」と「どちらかといえば重要でない」を合わせた値では、「出会いの場の創出」が最も高く、「五泉ニットの活力・魅力向上」、「地域資源の活用と観光の推進」が1割台で続く。

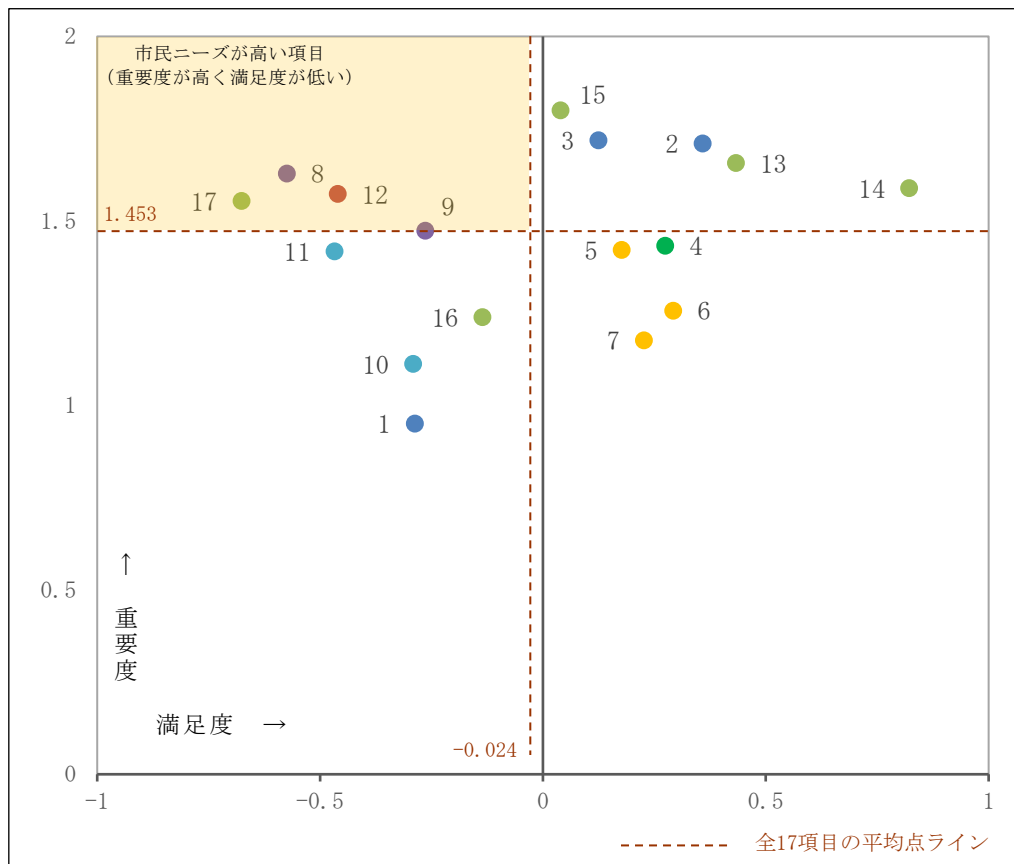


(2) 暮らしの満足度と重要度の相関（全 17 項目の比較）

「公共交通の利便性向上」や「多用な就業環境の創出」の 市民ニーズ（重要度は高く満足度は低い）がとりわけ高い

満足度と重要度のクロス集計にあたっては、重要度が高く満足度が低い項目が「重点的な改善が必要なもの」として特に重要な項目と考えられる。

全 17 項目を相対的に比較した結果をみると「重要度が高く満足度が低い領域」にあるのは、「17. 公共交通の利便性向上」、「8. 多様な就業環境の創出」、「12. 移住・定住の促進」、「9. 地場産業育成・支援」の 4 項目である。



項目別概要

I 「未来世代を守り育てる」

【1 結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援】

1. 出会いの場の創出
2. 出産・子育ての負担軽減
3. 子育て環境の充実

【2 教育の充実】

4. 特色ある教育

II 「産業の活力を高める」

【1 五泉ブランドの競争力強化】

5. 新しい力による農業の振興
6. 産学官連携による農業の振興
7. 五泉ニットの活力・魅力向上

【2 産業振興と就業環境の創出】

8. 多様な就業環境の創出
9. 地場産業育成・支援

III 「五泉の魅力をつなげる」

【1 地域の特性を活かした交流の推進】

10. 地域資源の活用と観光の推進
11. シティプロモーションの推進

【2 地域の魅力を活かした移住の推進】

12. 移住・定住の促進

IV 「確かな暮らしを充たす」

【1 未来へつながる安全・安心なまちづくり】

13. 防災力の強化
14. 健康長寿の推進
15. 地域医療の充実
16. 次世代の地域リーダーの育成
17. 公共交通の利便性向上

3. 結婚・出産・子育てについて

(1) 結婚について

問 16. あなたは結婚されていますか？（1 つだけ回答）

6 割強が結婚し、3 割強が現在独身

【全体結果】

「結婚している」が 6 割強を占める。「独身」が 3 割弱で、「結婚していたが今はしていない（死別を含む）」と合わせると 3 割を超える。

【性別】

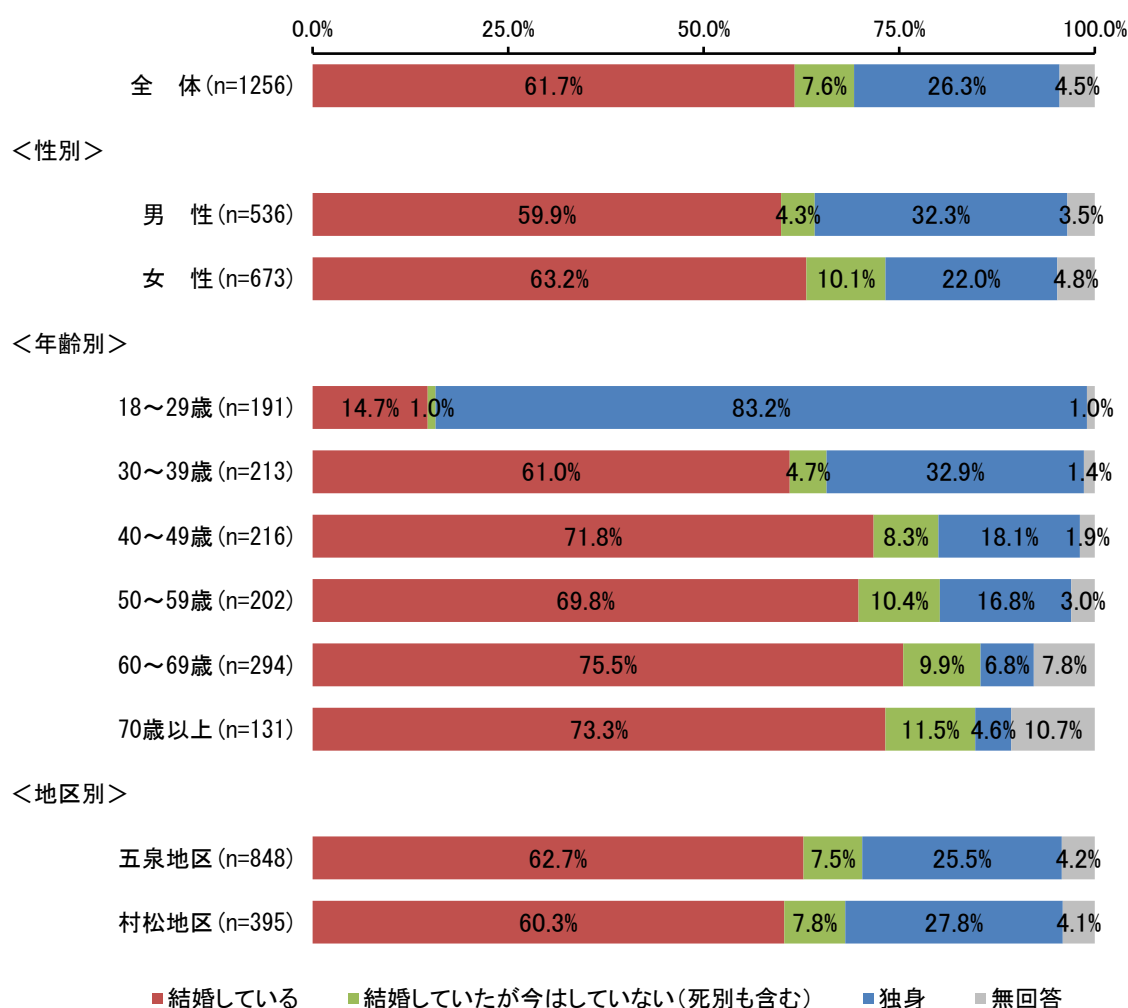
男性は「独身」の割合が女性よりも 10 ポイント程度高く、女性は「結婚している」の割合が男性よりも高い。

【年齢別】

年齢別でみると、「結婚している」は 20 代以下が 1 割台であるが、30 代では 6 割超となる。40 代以上は 7 割前後となる。

【居住地区別】

居住地区別では、特に大きな差はみられない。



問 17. あなたは、結婚したいと思いますか？（1 つだけ回答）

現在独身者の 4 割近くが「結婚するつもりはない」

【全体結果】

「いつかは結婚したい」が 6 割弱を占める一方、「結婚するつもりはない」が 4 割弱もいる。

【性別】

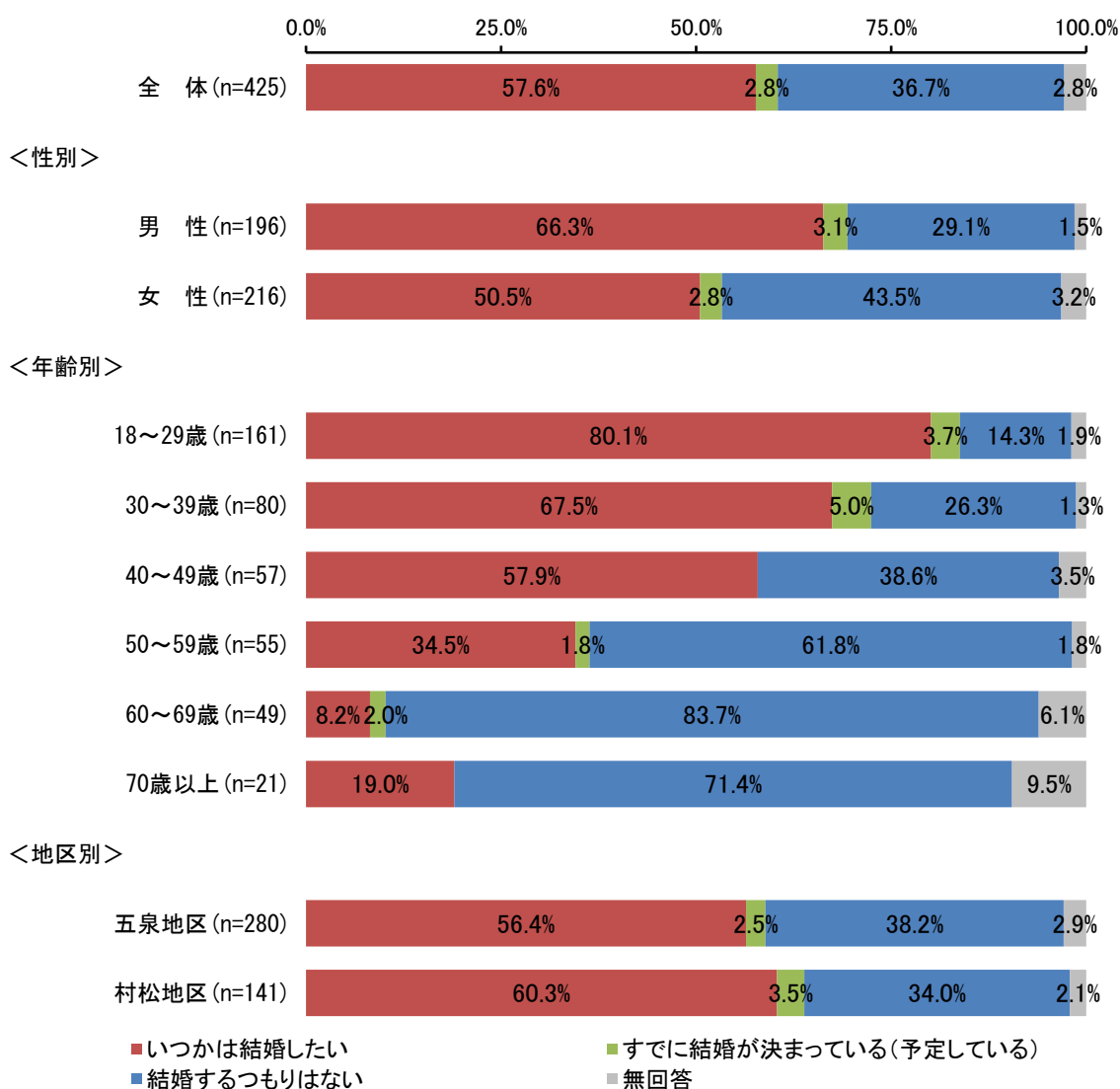
男性は「いつかは結婚したい」の割合が女性よりも 16 ポイント高く、女性は「結婚するつもりはない」の割合が男性よりも 14 ポイント高い。

【年齢別】

年齢層が高くなるにつれ、「いつかは結婚したい」の割合が低くなり、「結婚するつもりはない」の割合が高くなる。

【居住地区別】

居住地区別では、五泉地区は「結婚するつもりはない」の割合が比較的高く、村松地区は「いつかは結婚したい」の割合が比較的高い。



問 18. あなたが現在独身でいる理由として、次の中から選ぶとしたらどれですか？

(3 つまで回答)

※問 17 で、1 を選んだ方

独身でいる理由で最も多い意見は「良い相手にめぐり合わないから」

【全体結果】

独身でいる理由は「良い相手にめぐり合わないから」が半数近くで最も多く、「十分な収入がないから」が 3 割台、「結婚する年齢と感じないから」と「仕事（学業）に専念したいから」が 2 割台で続く。

【性別】

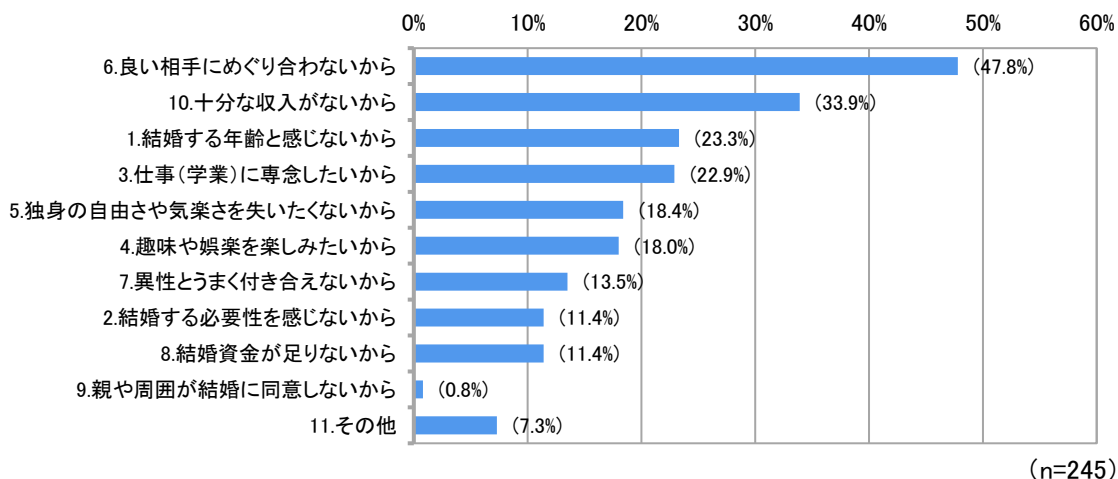
男女ともに 1 番目、2 番目の項目は同じであるが、3 番目に多い項目は、男性が「仕事（学業）に専念したいから」で、女性は「結婚する年齢と感じないから」となっている。

【年齢別】

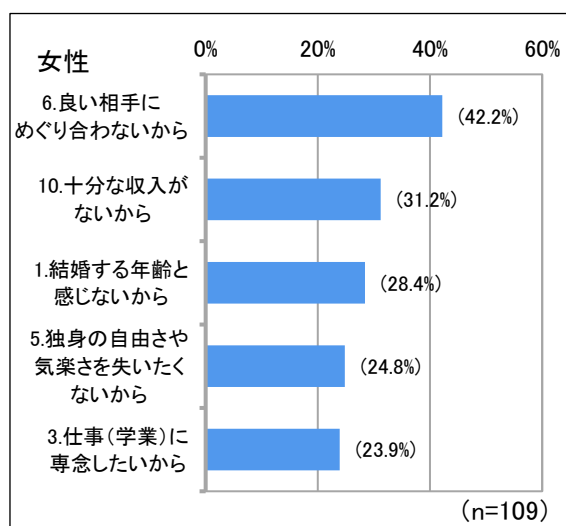
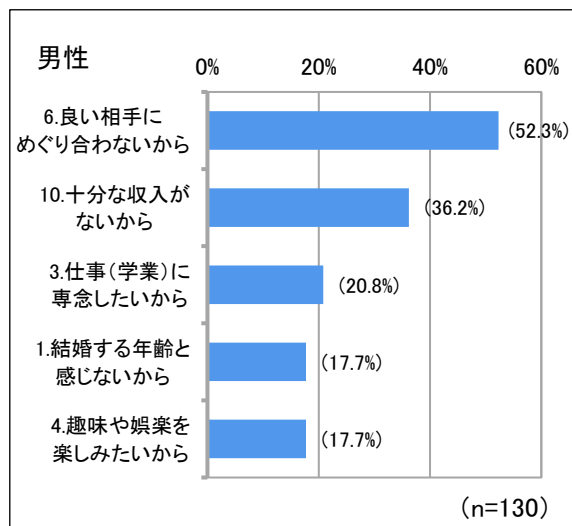
20 代以下と 70 代以上は「結婚する年齢と感じないから」が最も多い。

【居住地区別】

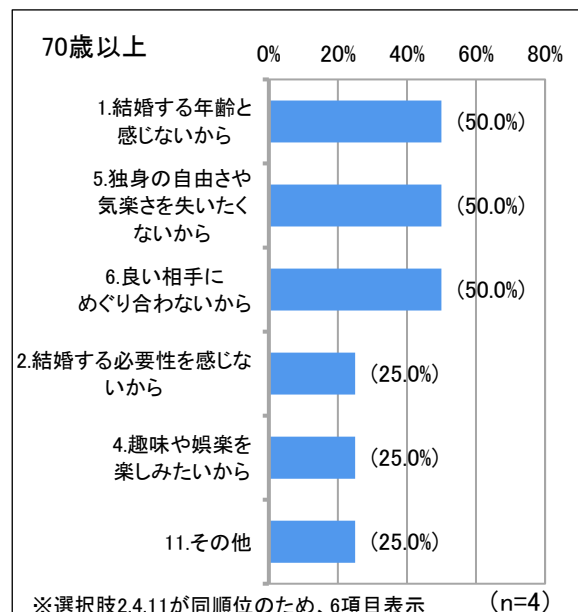
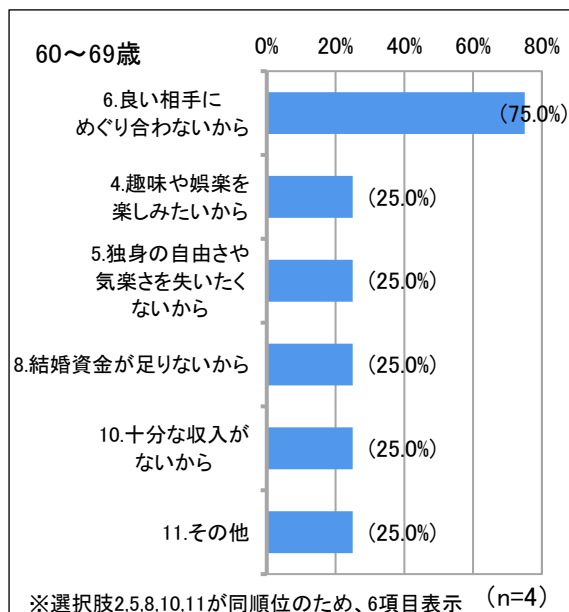
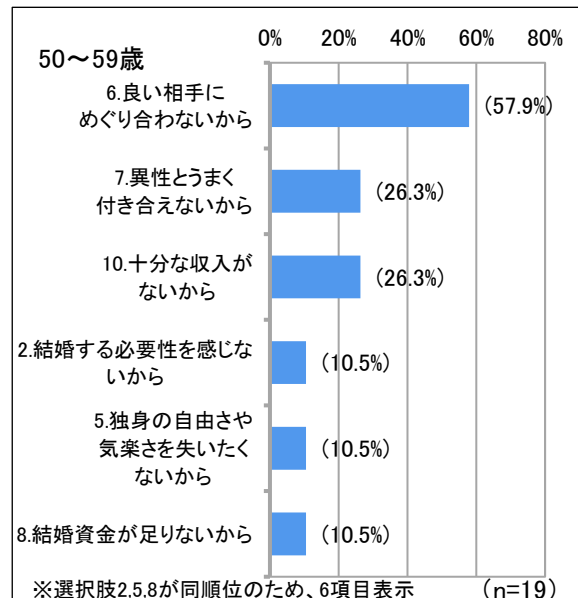
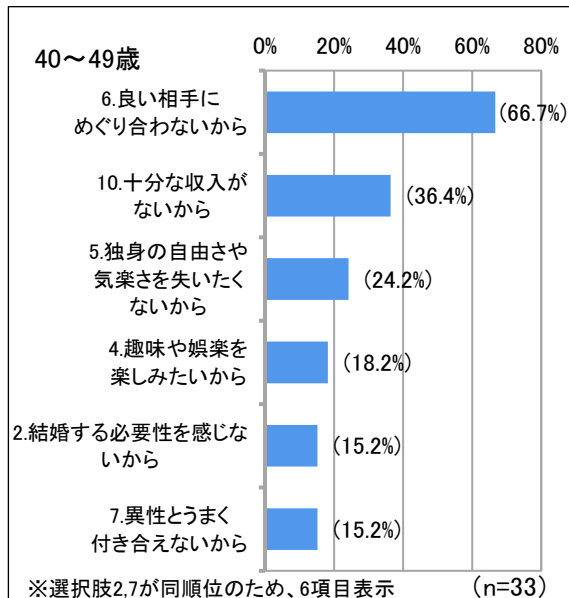
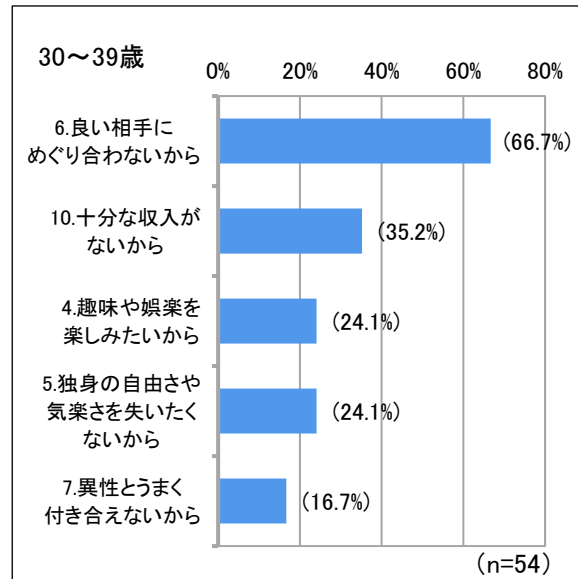
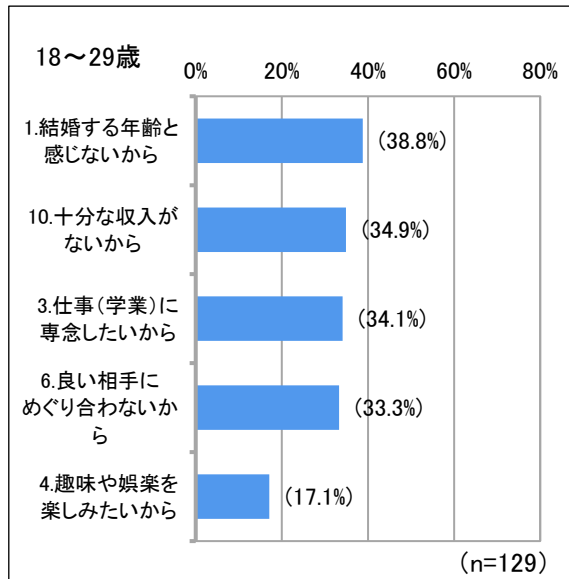
地区別では、特に大きな差はみられない。



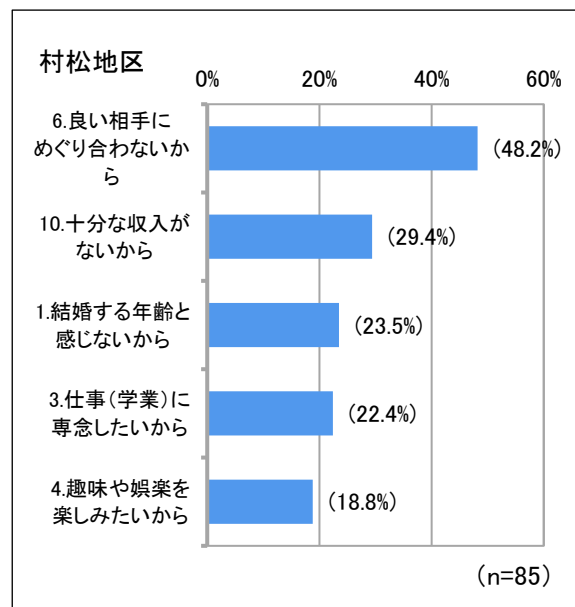
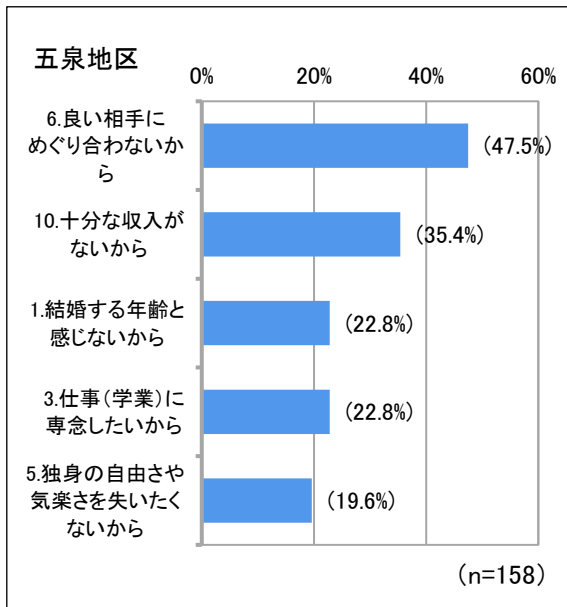
<性別>



<年齢別>



<居住地区別>



問 19. あなたが最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけはなんですか？

(3 つまで回答)

※問 16 で、1 を選んだ方

結婚を決めたきっかけは「年齢的に妥当な時期だと感じた」から

【全体結果】

結婚を決めた直接のきっかけは「年齢的に妥当な時期だと感じた」が 4 割弱で最も多く、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」、「親や周囲のすすめ」、「収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた」が 1 割台で続く。

【性別】

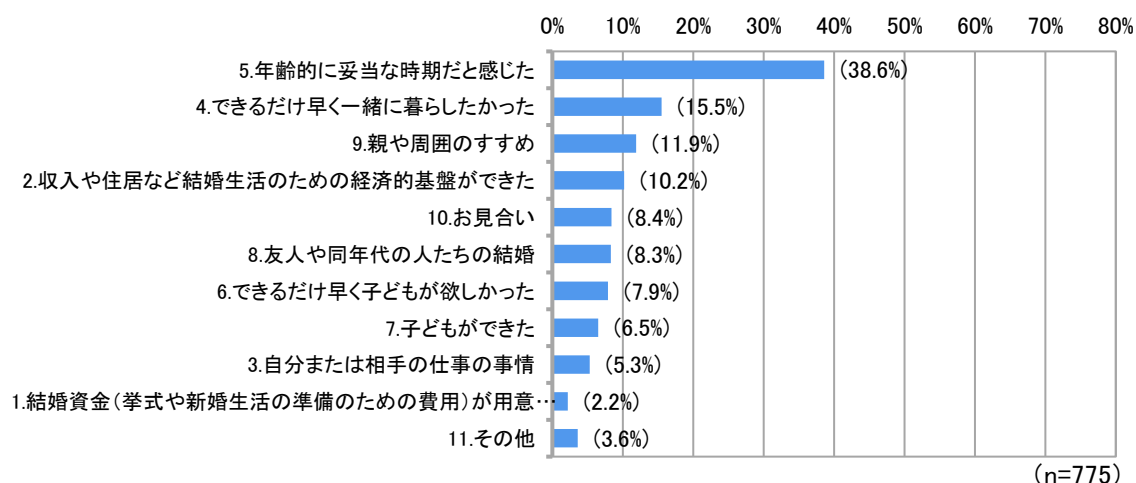
男女ともに 1 番目、2 番目は同じであるが、3 番目は男性が「収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた」で、女性は「親や周囲のすすめ」となっている。

【年齢別】

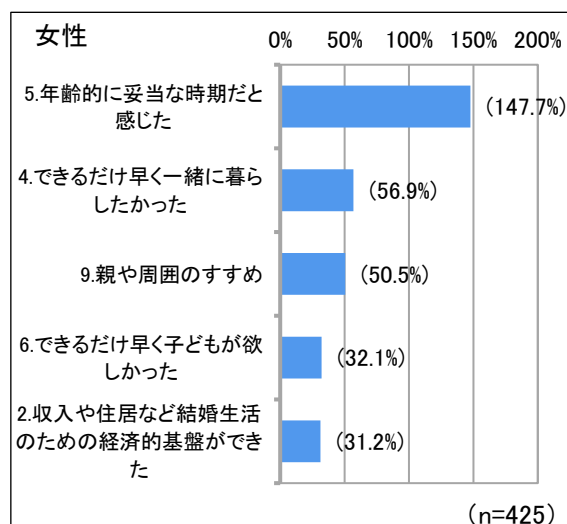
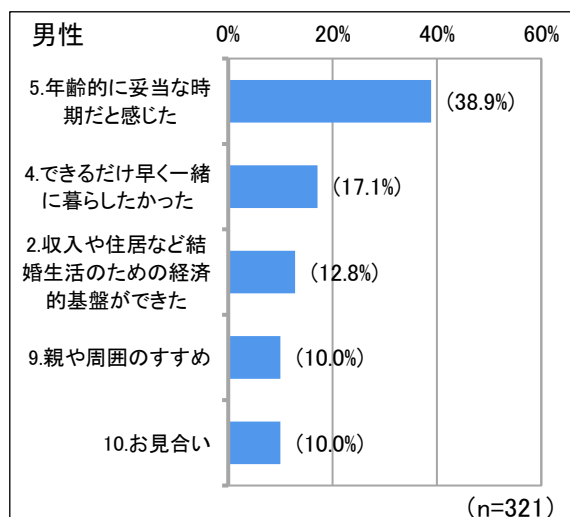
40 代以下では、「子どもができた」と「できるだけ早く子どもが欲しかった」が上位 5 項目に入る。

【居住地区別】

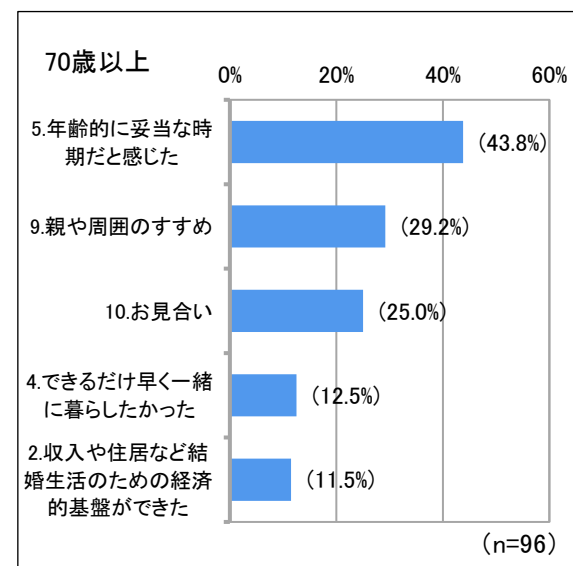
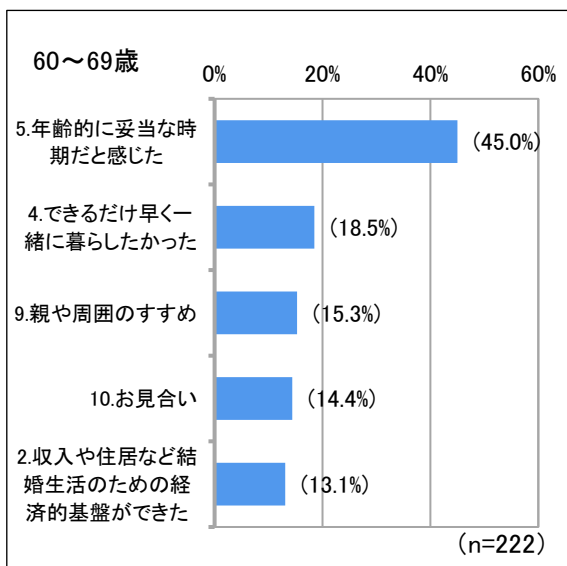
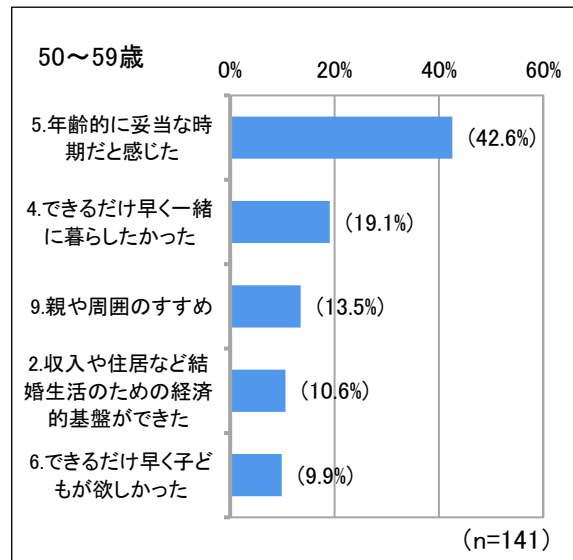
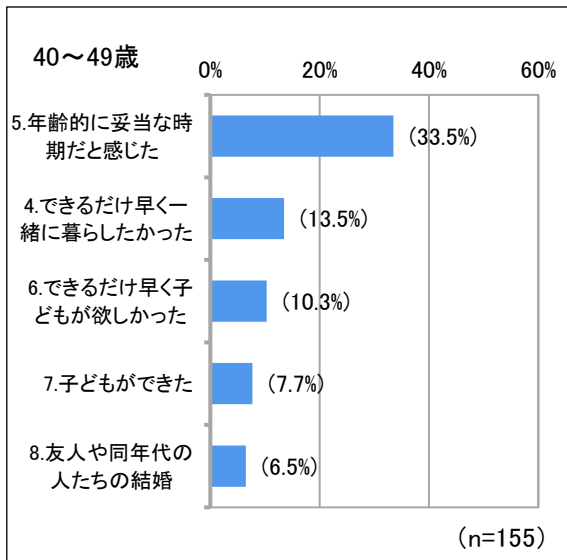
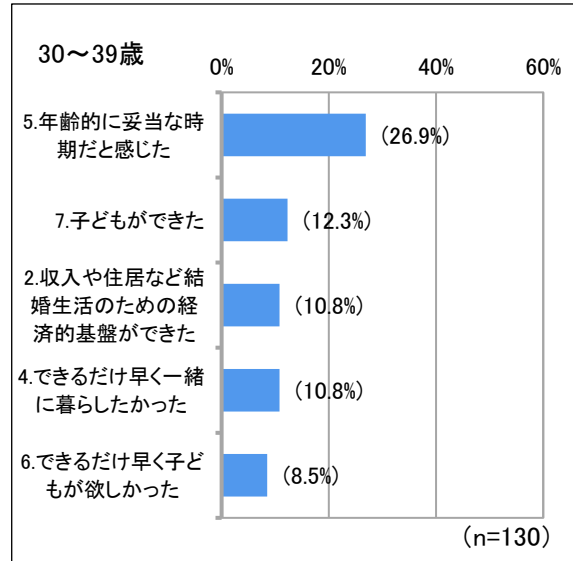
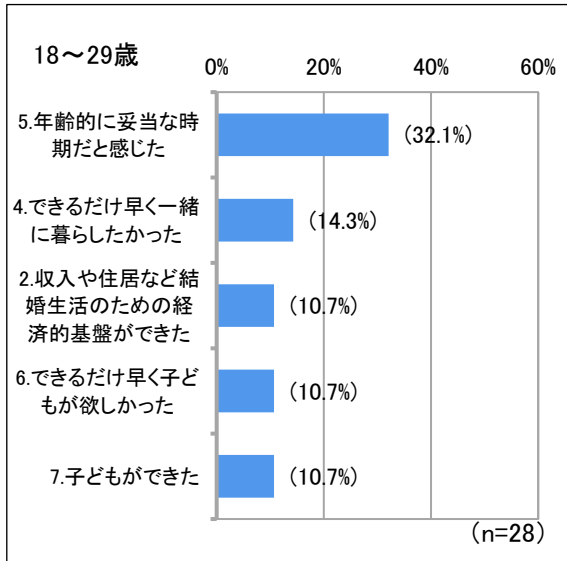
地区別では、特に大きな差はみられない。



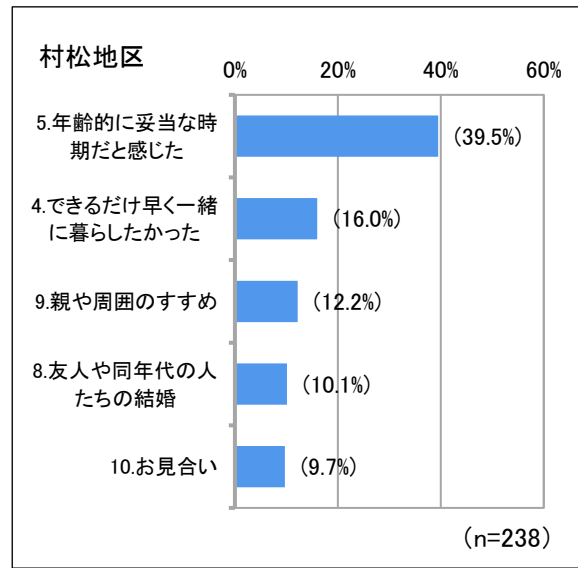
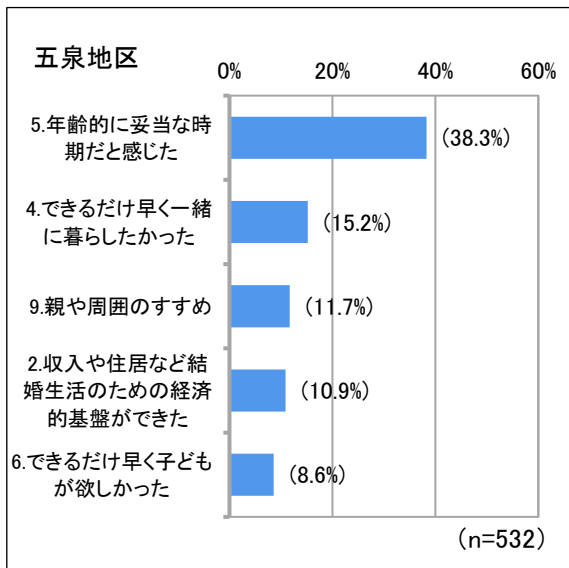
<性別>



<年齢別>



<居住地区別>



(2) 出産・子育てについて

問 20. あなたには子どもがいますか？（1 つだけ回答）

子どもの人数は「2 人以上」が過半数

【全体結果】

子どもの数は「2 人」が 4 割弱、「3 人」が 2 割弱で合わせると半数を超える。「1 人」は 1 割で、「いない」は約 3 割であった。

【性別】

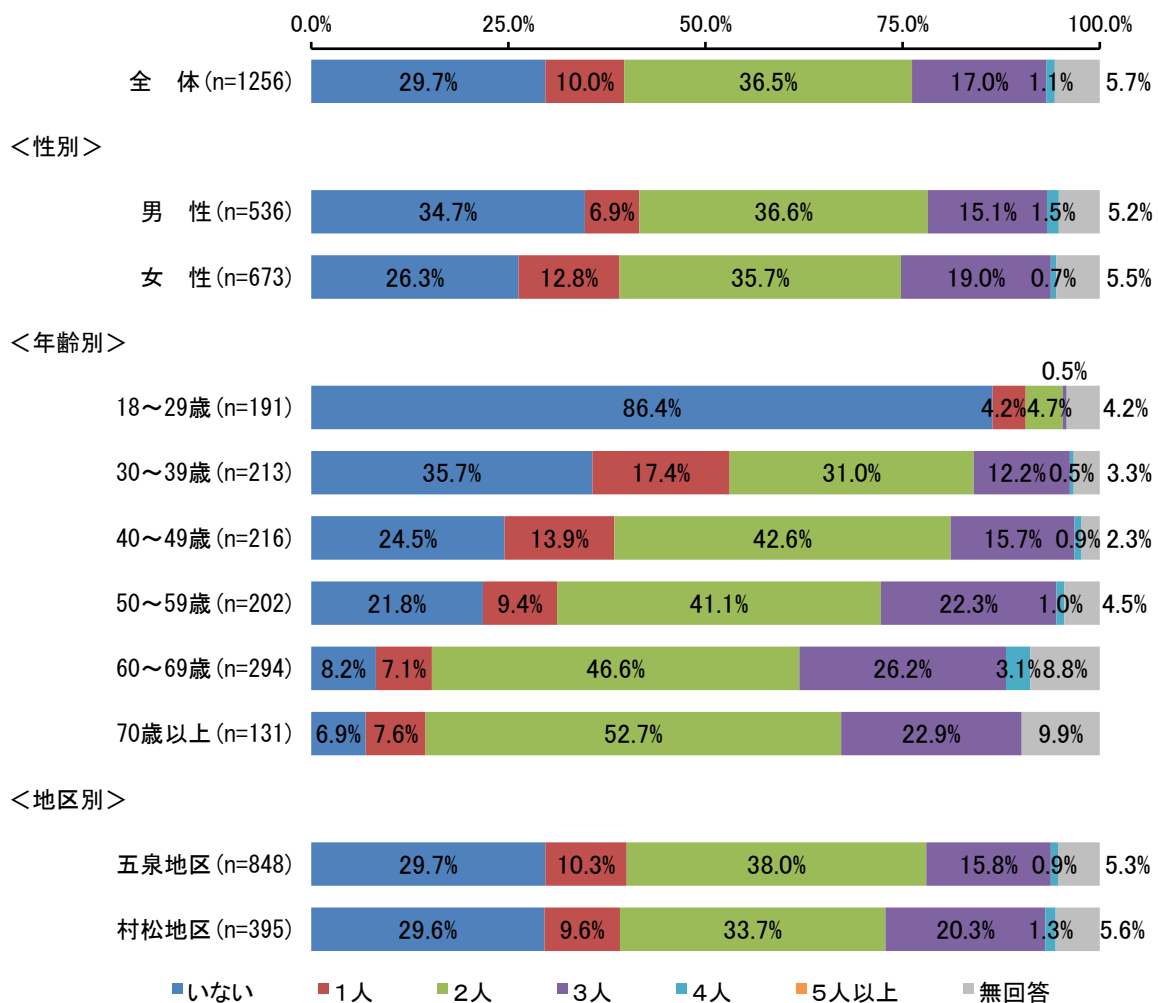
※分析省略

【年齢別】

20 代以下は「いない」が 9 割弱を占める。2 人以上の割合が 30 代で 4 割強、40 代で 6 割弱、50 代で 6 割強となる。

【居住地区別】

地区別では、特に大きな差はみられない。



問 21. あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか？（1 つだけ回答）

理想的な子どもの数は「3 人」と「2 人」が 4 割ずつ

【全体結果】

理想的な子どもの数は「3 人」と「2 人」が 4 割程度で他を大きく離す。

【性別】

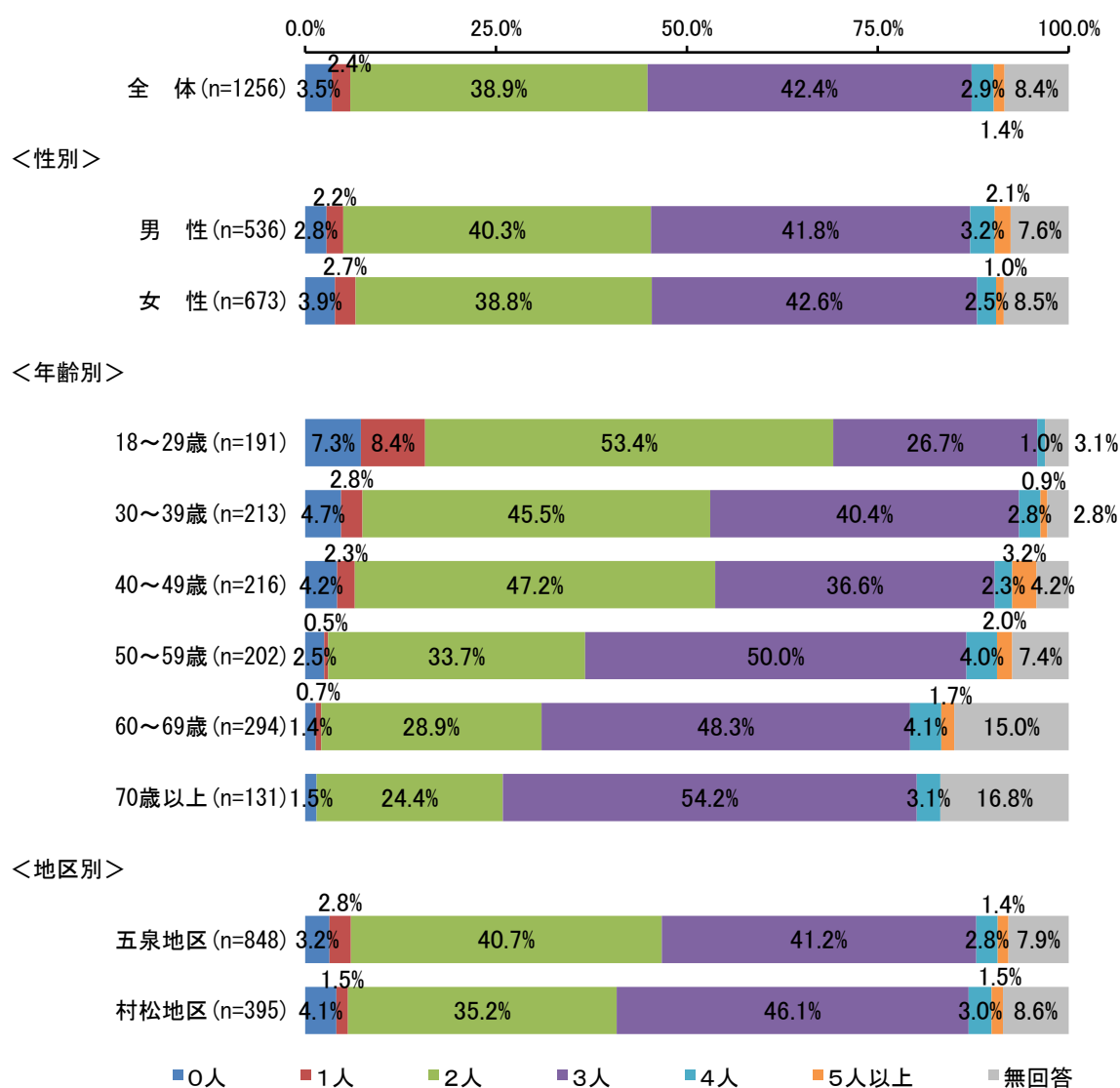
性別では、特に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢層が高くなるにつれ、「2 人」の割合が低くなり、「3 人」の割合が高くなる。20 代以下では「2 人」が半数以上で、70 代以上は「3 人」が半数以上。

【居住地区別】

地区別では、特に大きな差はみられない。



問 22. 【問 21】でお聞きした理想なお子さんの人数が、仮に結果的に持てないことがある、もしくは持てない状態にあるとしたら、その原因は何である可能性が高いと思われますか？（3 つまで回答）

※問 21 で、2～6 を選んだ方

子どもを希望どおり持てなかった場合の理由は 「出産や子育て、教育にお金がかかりすぎるから」

【全体結果】

「出産や子育て、教育にお金がかかりすぎるから」が約 7 割で突出する。「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」と「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」が 2 割台で続く。

【性別】

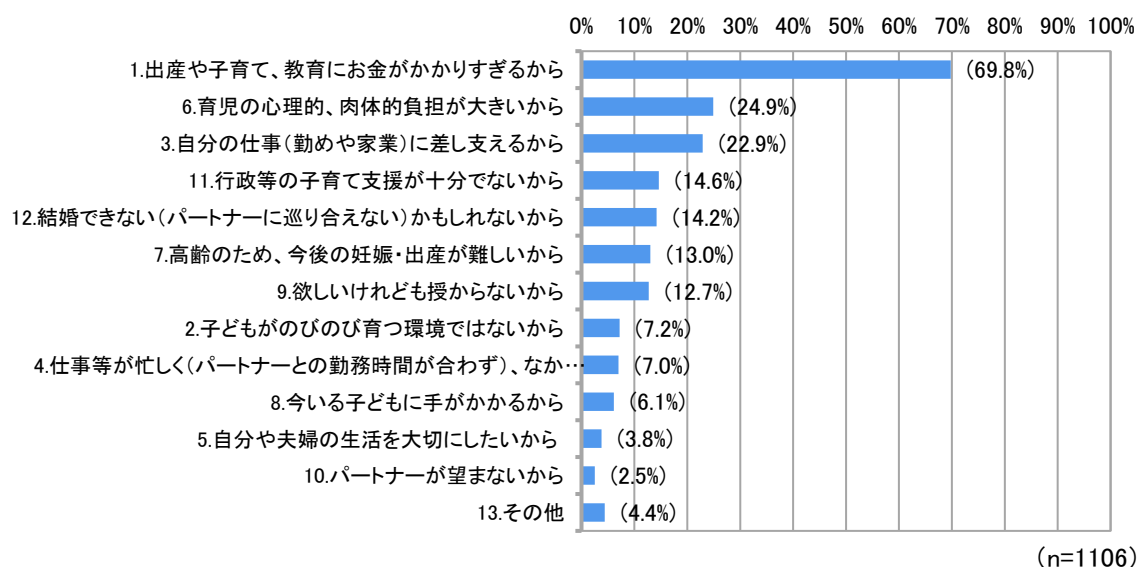
男女ともに上位 3 項目は同じだが、2 番目の「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」と 3 番目の「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」は、女性の方が割合は高い。

【年齢別】

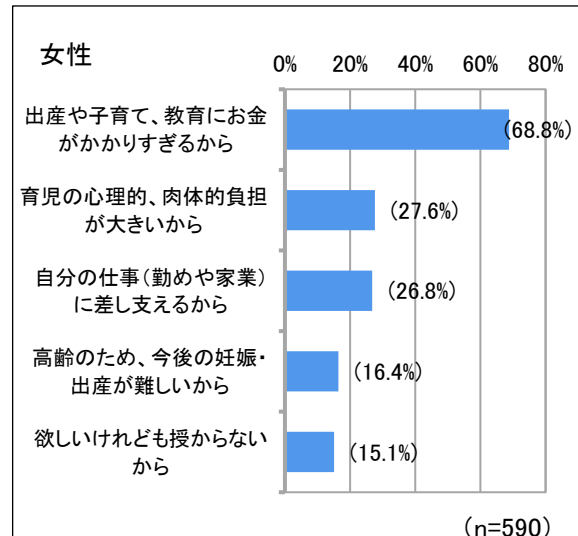
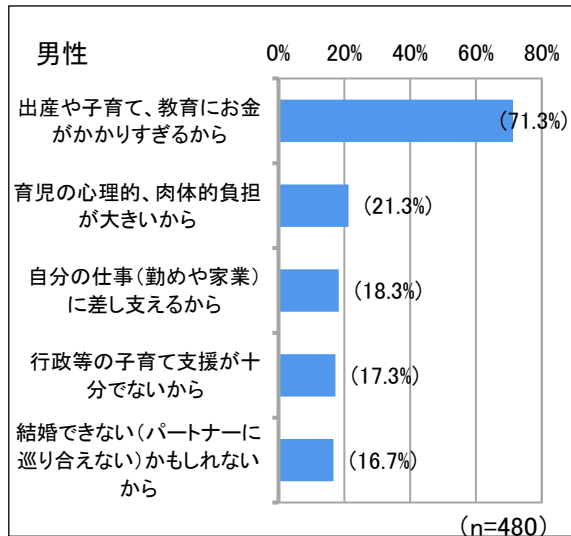
2 番目に多いのは、20 代以下が「結婚できない（パートナーに巡り合えない）かもしれないから」、30 代が「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」、40 代・50 代が「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」であった。

【居住地区別】

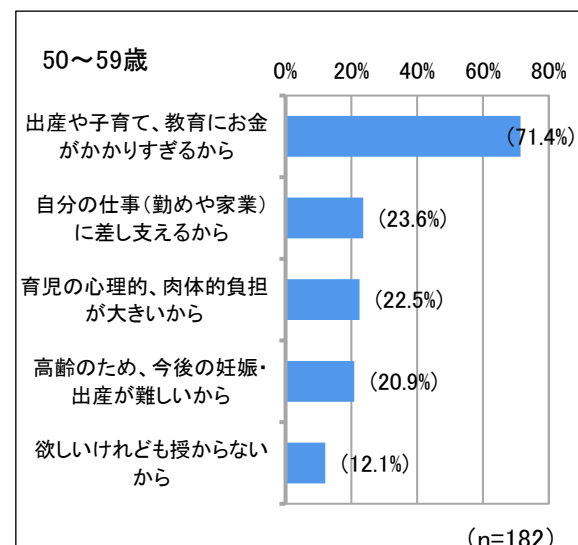
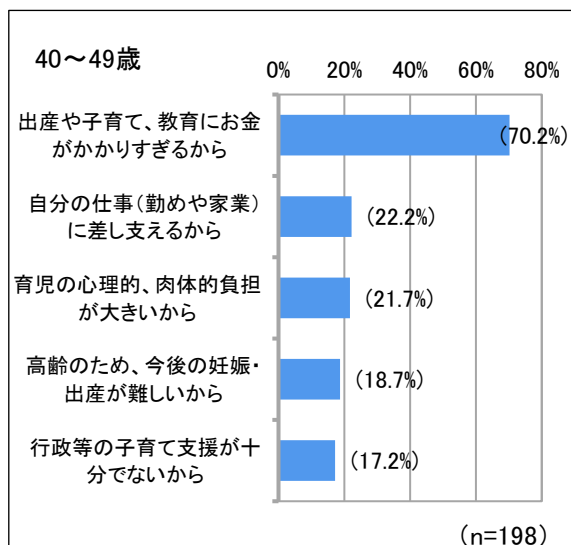
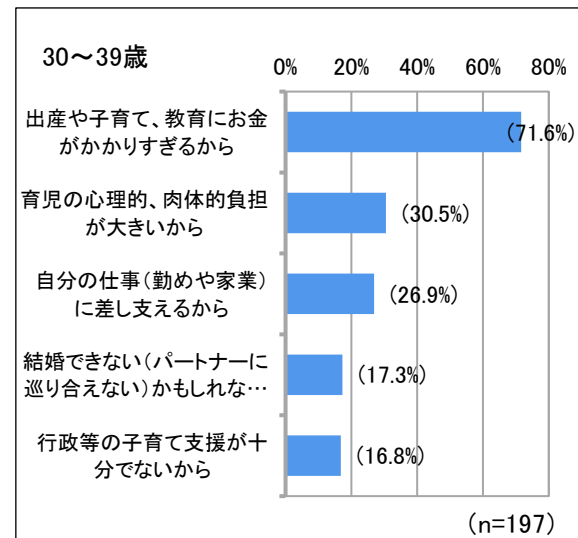
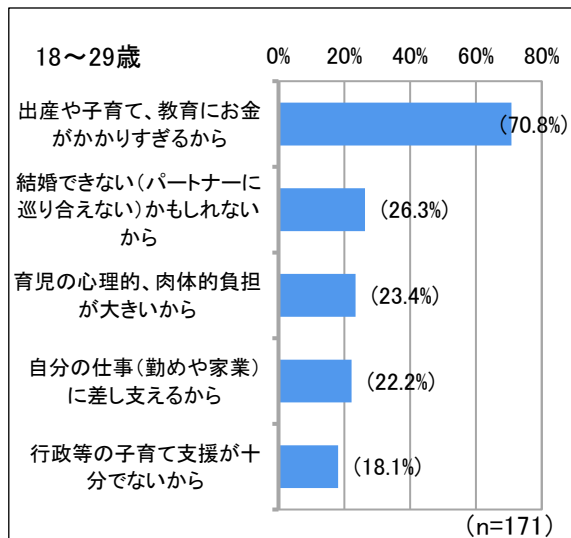
2 番目に多いのは、五泉地区が「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」、村松地区が「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」であった。

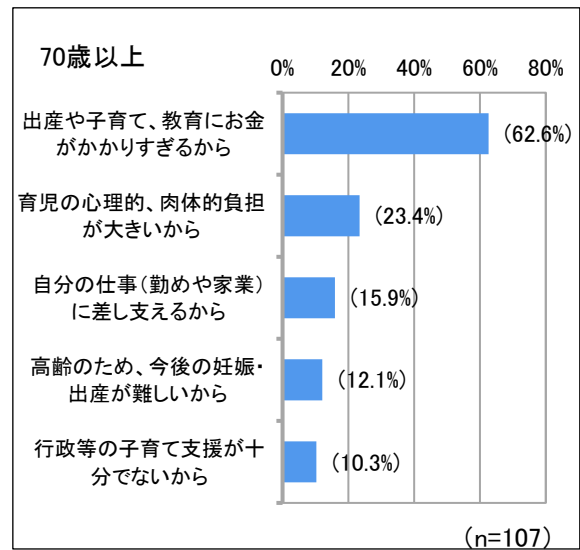
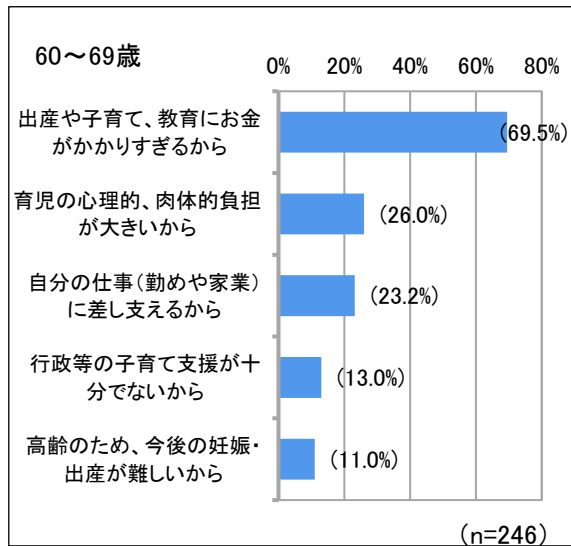


<性別>

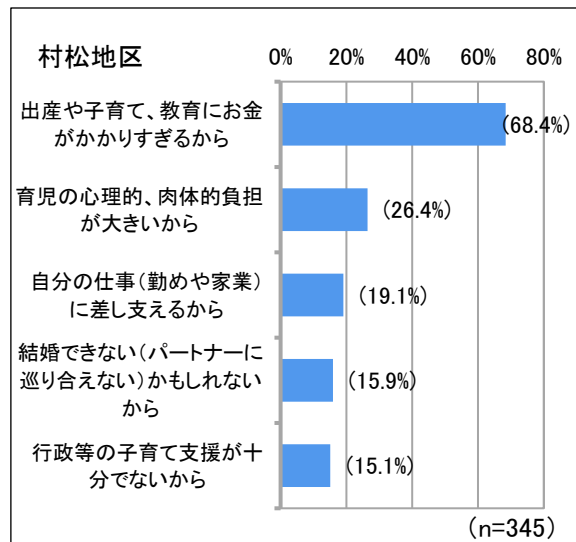
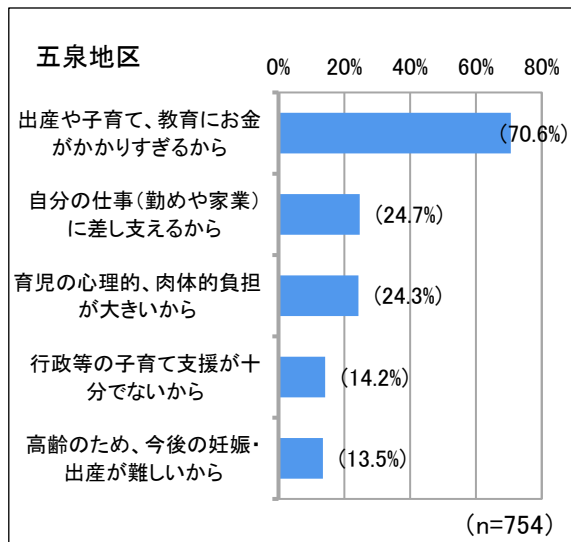


<年齢別>





<居住地区別>



(3) 若い世代の結婚・出産・子育てについて

問 23. あなたは、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、何が重要だと思いますか？（3 つまで回答）

若い世代の結婚・出産・子育てのために必要なのは 「児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実」

【全体結果】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるために必要なこととして、「児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実」との回答が半数以上となった。「雇用の場の確保」、「子どもにかかる医療費や不妊治療にかかる費用の支援」が3割台で続く。

【性別】

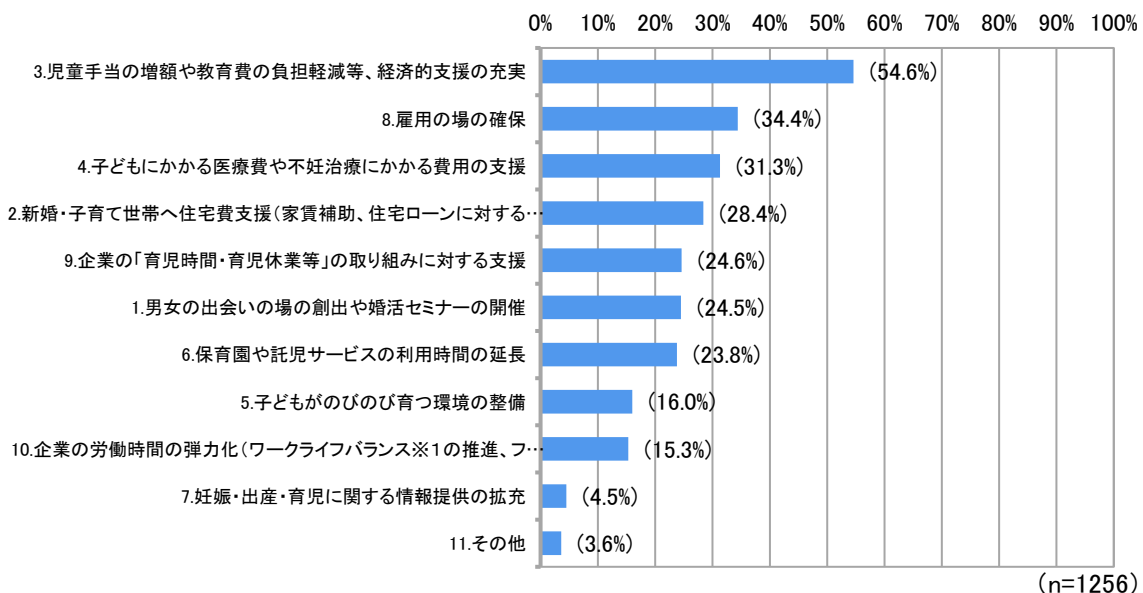
2 番目に多い意見は、男性が「雇用の場の確保」、女性が「子どもにかかる医療費や不妊治療にかかる費用の支援」であった。

【年齢別】

2 番目に多い意見として、30 代以下は「新婚・子育て世帯へ住宅費支援」、40 代は「子どもにかかる医療費や不妊治療にかかる費用の支援」、50 代・60 代は「雇用の場の確保」をであった。

【居住地区別】

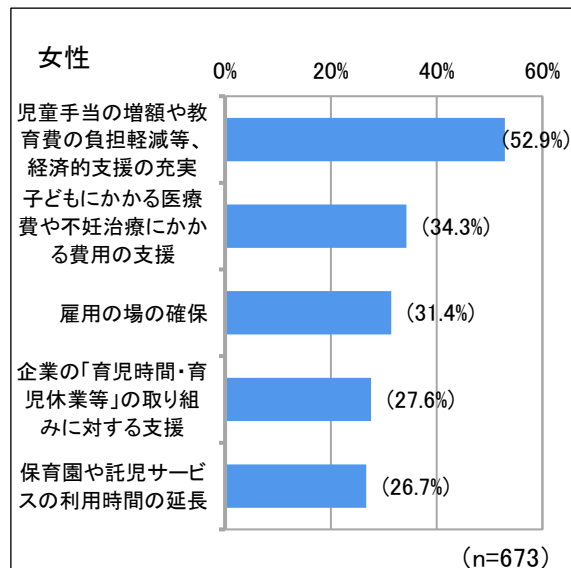
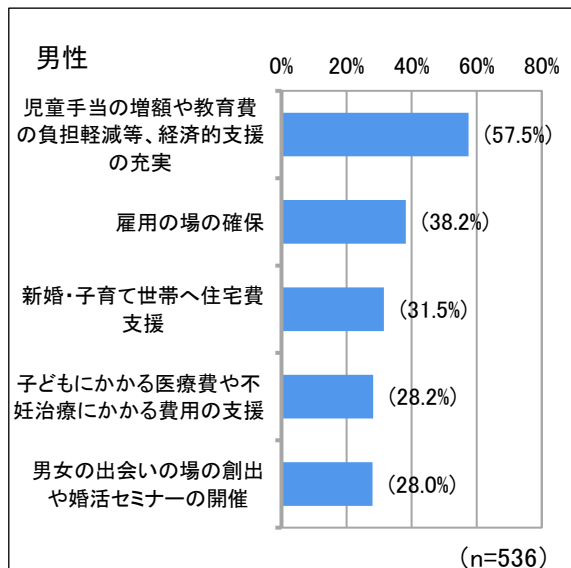
3 番目に多い意見として、五泉地区は「子どもにかかる医療費や不妊治療にかかる費用の支援」、村松地区は「男女の出会いの場の創出や婚活セミナーの開催」であった。



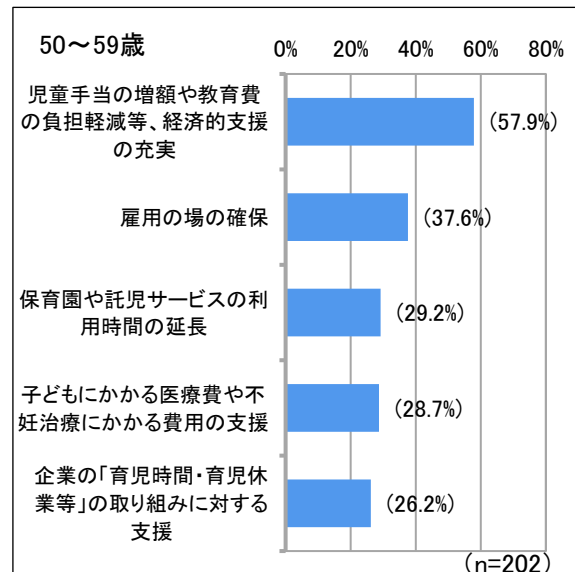
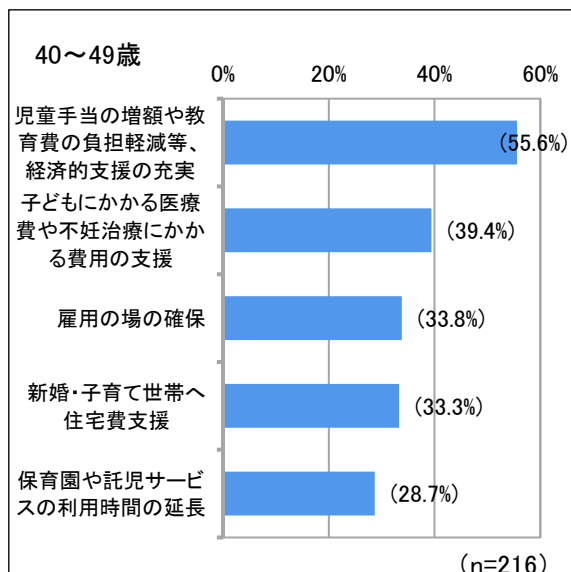
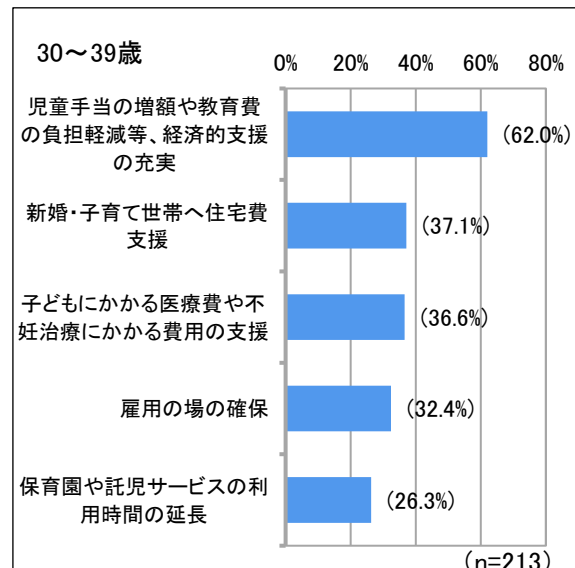
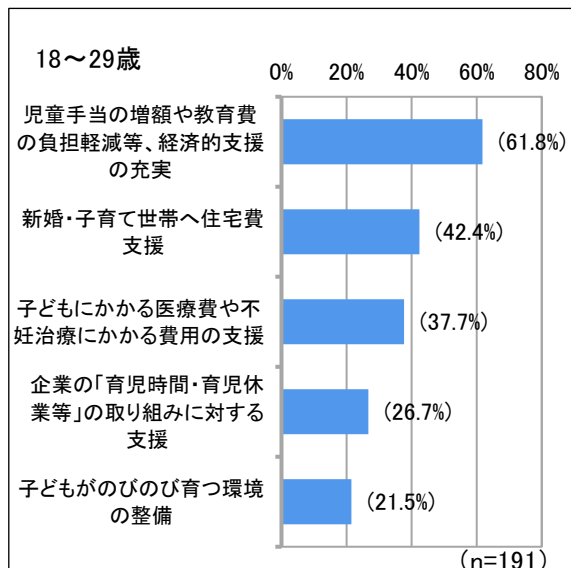
※1：ワークライフバランスとは、やりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域生活も充実させる「仕事と生活の調和」のことです。

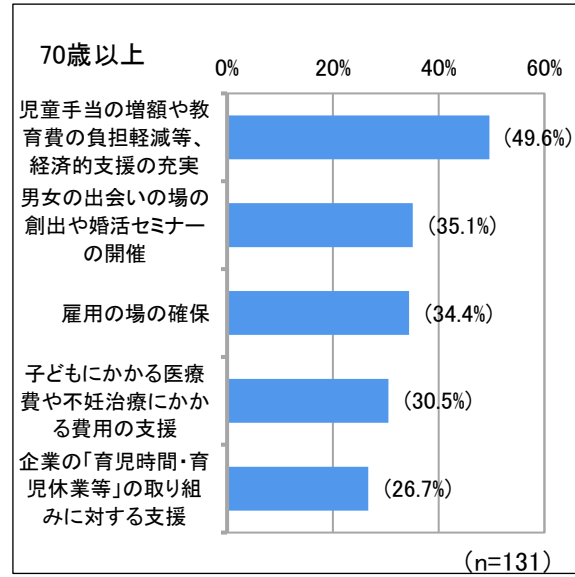
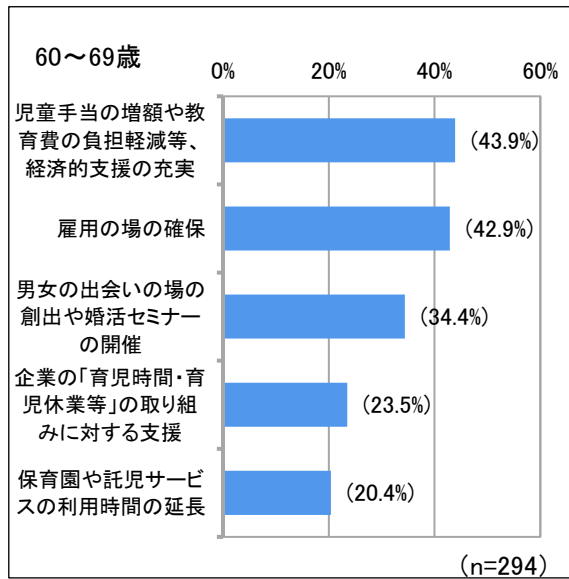
※2：フレックスタイム制度とは、出退勤時間を各自の職務内容を周辺の都合により自由に調節できる制度です。

<性別>

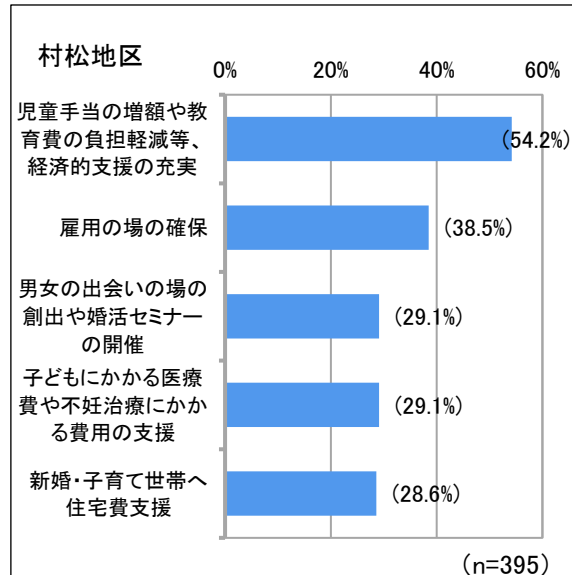
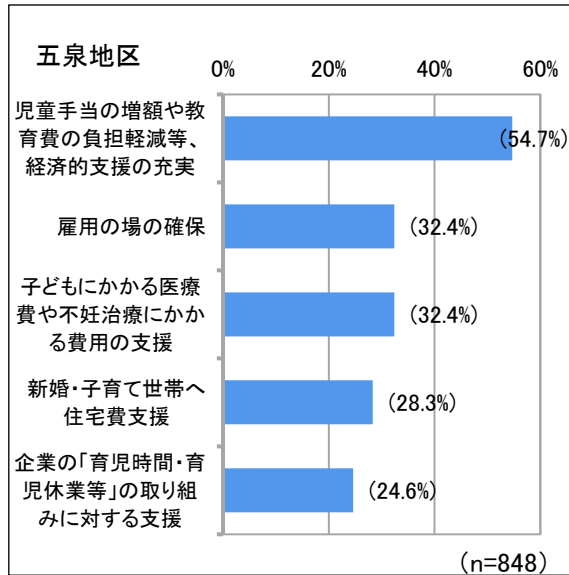


<年齢別>





<居住地区別>



4. まちづくりに関する自由意見

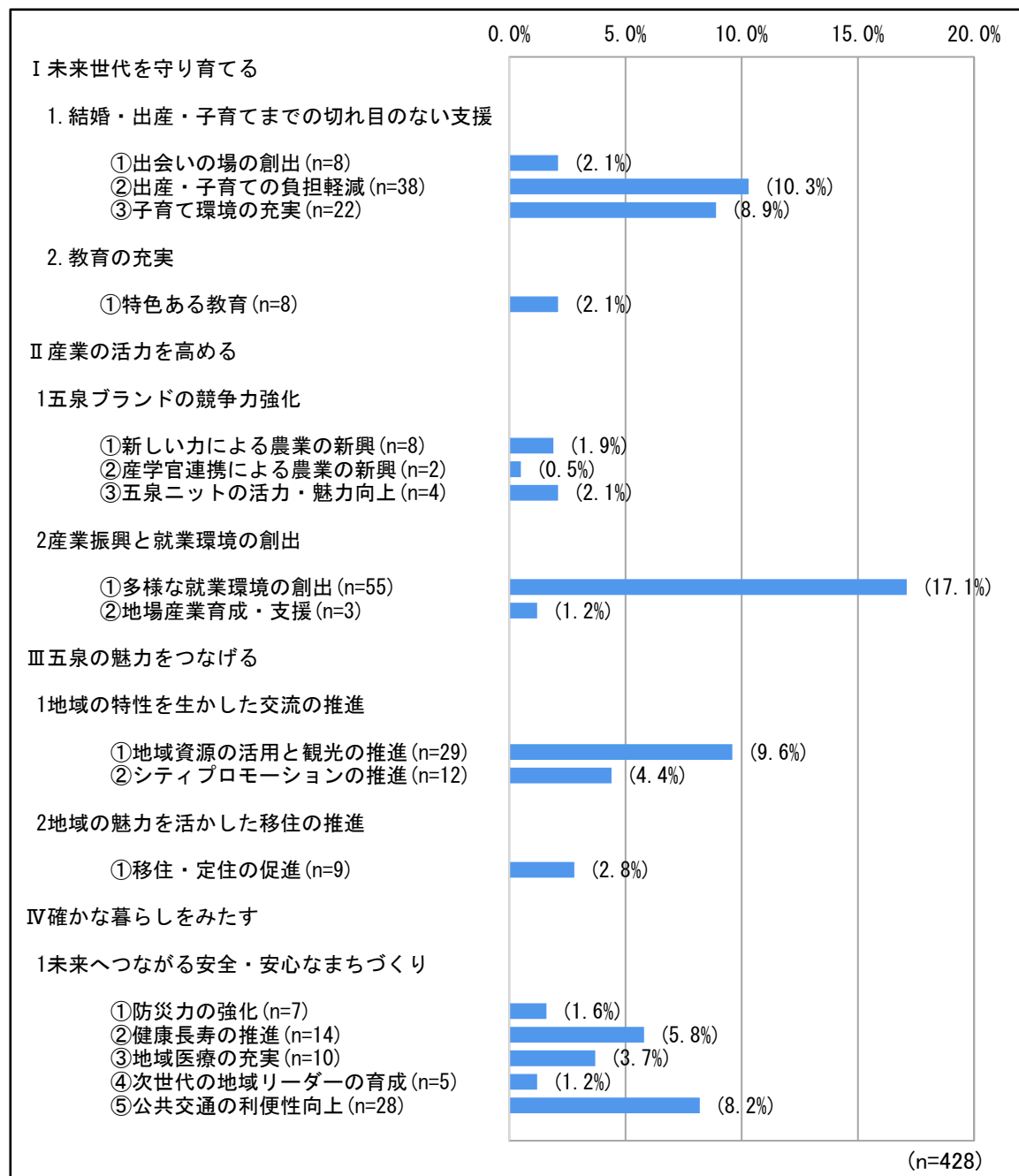
これからのまちづくりに対してのご意見など、ご自由にお書きください

多種多様な意見・要望・提言等が寄せられた。

『まちづくり』に関しての様々な意見・要望等が 428 人より寄せられた。

記載内容の主旨を基に分類した。（複数テーマにまたがる場合は主なもの）

また、各テーマの中から代表的な意見・内容を一部抜粋したものを併せて掲載した。



【代表的な回答内容】

◆11①出会いの場の創出

- ・男女の出会いの場の創出が重要であると考えます。（独身者が多いため）
（20 代以下、男性、五泉地区）
- ・時代がどんどん変わっていく中で若い男女（30 歳代）の結婚に関してもっと私達が積極的に取り組んでいてもいいと思います。（60 代、女性、五泉地区）

◆11②出産・子育ての負担軽減

- ・とにかく五泉市にずっと住んで居たいと思えるような魅力ある町づくりをして下さい。子供が欲しいと思っている夫婦は、沢山いると思います。産むこと、妊娠すること、不妊治療すること等、さまざまなことに対し躊躇せず出来る町にして下さい。
（30 代、男性、村松地区）
- ・子育てしている女性は、土日祝日休みが良い（働くには）。そして残業もなく、時間も 17 時頃には終わるのが一番良いです。そんな企業がたくさんあったら、五泉で働いて、五泉で暮らし、五泉で子育てしたいと強く思います。
（30 代、女性、五泉地区）

◆11③子育て環境の充実

- ・子供 1 人に最低中学まで毎年補助金があればと思う（核家族は特にほしい）保育園の無償化。（30 代、女性、五泉地区）
- ・ママ＆お年寄りの憩いの場を設けると良いと思う（リラックスや運動の場）。児童への経済的支援は現物支給が良いと思う。（40 代、女性、村松地区）

◆12①特色ある教育

- ・高齢者をうやまいつつ、子供の目線に立った、若者達が出て来るような、温かみのある教育現場の実現に期待している。（40 代、男性、村松地区）
- ・学校ボランティアを、どの学区にも広く呼びかけ、地域の人間の色々な年齢層の目と手を借りて、子育てや教育に巻き込んでください。愛情不足の子を作らないで欲しい。（50 代、女性、五泉地区）

◆21①新しい力による農業の新興

- ・無農薬・減農薬の農業により、地産地消を市全体で取り組み、安心安全な食生活を送れるようにすると良いかと思います。さらに安心安全で五泉を売り込むことも良いのでは？（50 代、女性、五泉地区）
- ・農業が素人で行えるような環境があるといいと思います。年々田んぼをやめる人が増えているような気がしますが、中々一から始めようとするのは大変なので。
（30 代、男性、五泉地区）

◆21②産学官連携による農業の新興

- ・県外の知人が五泉の里いもを気に入ってくれ、とても喜んでいました。その方は、料理店を経営していたので。五泉の食などブランド力は十分にあると感じ、私も嬉しく思いました。(30代、男性、五泉地区)

◆21③五泉ニットの活力・魅力向上

- ・昔みたいにニットの街にすると、会社も増え、市外・県外からも居住が増えたり、就職も増える。子供の習い事がなくて、みんな市外まで習いに行っている。
(30代、女性、五泉地区)
- ・五泉はニットがだめになってきたので人口はさらに少なくなると思います。(ほかの仕事に比べると給料が安く魅力がない) もっと前に若い人に魅力ある体制を組んでいれば良かった。私も若い時にニットの仕事を40年もしていました。先に立つ人に勉強して欲しいと思います。(60代、女性、五泉地区)

◆22①多様な就業環境の創出

- ・地場産業も大事ですが、市内での雇用を増やすなら、大きな企業の誘致や、その為のインフラ整備に力を入れた方が良いでしょう。(30代、男性、五泉地区)
- ・私は去年転職をし、今は市外で働いていますが、五泉市は求人が少なく、資格を持っていない人が働くのに不便を感じます。(20代、女性、村松地区)

◆22②地場産業育成・支援

- ・五泉市に住みたい、五泉市に住み続けたいと思える何かがあるといいと思う。地場産業がまだまだ地味な印象がある。(50代、女性、五泉地区)
- ・全ては地場企業の賃金アップだと思います。(60代、男性、村松地区)

◆31①地域資源の活用と観光の推進

- ・市内イベントが単独で行われているイメージ。さといも祭りや寒九の水汲み、紅葉マラソン等の市外から人が来るイベントをチャンスと考え、他産業とコラボして活かすべき。(20代、男性、五泉地区)
- ・人を多くよべるようなイベントを催すと良いと思います。たとえばラーメン、ニット等衣料品より食べ物、せっかく市内に様々なラーメンがあるし、県内でも県外からでもゲストとしてラーメン屋さんを呼んだりして、長いスパンで行うべきかと思っています。(20代、女性、五泉地区)

◆31②シティプロモーションの推進

- ・市を先ず積極的に外に宣伝し、広めるべきだと思います。只、ニット産業の保護推進を強め努力して居りますが、五泉の地を生かした別の業種を育成・誘致をもう少し考えるべきだと思います。(70代、女性、五泉地区)
- ・五泉はアピール力が足りない。もっともっと発して市外の人からも“いい所だ、住みたい所だ”とおもえるよう、そして魅力ある市にしてほしい。
(20代、女性、五泉地区)

◆32①移住・定住の促進

- ・他の市町村から子育て世代を呼び込む事が出来ればこの五泉市にもまた活気が戻ってくると思います。新潟市のアクセスが比較的良いため、ベッドタウンとして人口増加を狙えると思います。(30代、男性、五泉地区)
- ・問23の「新婚・子育て世代への住宅費支援」「児童手当の増額や教育費の負担軽減等、経済的支援の充実」「子どもにかかる医療費や不妊治療にかかる費用の支援」充実が向上することと、それを分かりやすく情報発信(HP等)すれば、五泉市に家を建てて、永住してもらえるかもしれません。(30代、男性、村松地区)

◆41①防災力の強化

- ・市の防災無線の音声が、周囲の建物などで反響して非常に聞き取りづらいです。外出中などスピーカーの近くにいる時ははっきりと聞こえるのですが、改善をよろしくお願いします。(20代、女性、五泉地区)
- ・「五泉あんしんメール」が中途半端で逆に不安になる。(50代、女性、五泉地区)

◆41②健康長寿の推進

- ・健康を維持できるよう市がサポートできる施設を多く設置する。老後の集まれる施設を多く、麻雀、花札、トランプなど老人が楽しめる設備を多く活用する。(今ある設備で)(60代、女性、五泉地区)
- ・介護施設内もしくは近くに保育施設を作り、高齢者と幼児、子供達の交流を活発に出来ると良いです。(60代、女性、五泉地区)

◆41③地域医療の充実

- ・総合病院もできますが、医師はどうなるのでしょうか。治療に格差が出ては困ります。その点を話し合っって安心して暮らせる市にして欲しい。
(60代、女性、村松地区)
- ・在宅医療にもっと力を入れて欲しい。施設・病院・自宅を連携の取れる医療体制で、自宅で大往生したいと願う一人です。(60代、女性、村松地区)

◆41④次世代の地域リーダーの育成

- ・さまざまな産業分野で活躍中の若手リーダーを市議などに推薦・登用すれば、若い世代の意見が市政に反映されて、より活気があり前途が広がる若々しいまちづくりができると考えます。(70代、女性、五泉地区)
- ・特徴の突出した街づくりを目指した方が良いと思います。特異な分野を伸ばす方が、まんべんなくフォローするより、簡単に伸ばせると思います。若い人たちのプロジェクトチームも効果的ではないでしょうか。(60代、男性、村松地区)

◆41⑤公共交通の利便性向上

- ・私は車に乗りませんので、ぜひとも公共交通の利便性を高めてもらいたいです。電車の本数が少なすぎます。(60代、女性、村松地区)
- ・路線バスの村部(郊外)地区も走らせて欲しい。さくら号は不自由。村松駅前から本町への歩道の段差がひどい。(車椅子やベビーカーなど車道側に傾いてしまう。)(60代、女性、村松地区)
- ・在宅医療にもっと力を入れて欲しい。施設・病院・自宅を連携の取れる医療体制で、自宅で大往生したいと願う一人です。(60代、女性、村松地区)

調査票様式

将来の五泉市のための 『市民アンケート』のお願い

日ごろより、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

五泉市では現在、「第2次総合戦略」※の策定作業を進めており、広く市民の皆さまのご意見などをうかがうため、市内にお住まいの方にアンケート調査を実施させていただくこととしました。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成31年2月 五泉市

※ 総合戦略とは、人口減少問題対策の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートにご協力いただく方は、平成31年1月1日現在、満18歳以上の市民の方から年代別に3,000人を選ばせていただきました。封筒の宛名のご本人様がご回答ください。
2. 調査の結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。率直なご意見をお書きください。
3. 回答は、1ページから順に、質問ごとに用意した選択肢の中からあなたのお考えにあてはまる番号を選び、直接この用紙に記載してください。「その他」にあてはまるときには、（ ）内にその内容を具体的に記載してください。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて3月5日（火）までにご投函ください。（名前を記入する必要はありません。切手も不要です。）

アンケートについての不明な点、ご質問がありましたら
下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

五泉市企画政策課 企画政策係
〒959-1692 新潟県五泉市太田 1094 番地 1
TEL : 0250-43-3911 FAX : 0250-42-5151
E-mail : kikaku@city.gosen.lg.jp

1. あなたご自身のことについて、おたずねします

※各設問それぞれ、あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

「その他」の場合は、() 内にその内容を具体的に記載してください。

問1. 性別	1. 男性	2. 女性
問2. 年齢	1. 18～29 歳	2. 30～39 歳
	3. 40～49 歳	4. 50～59 歳
	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上
問3. ご職業 ※主なもの1つだけ○	1. 自営業（農林業等） 2. 自営業（商工業・サービス業・建設業等） 3. 雇用者（企業や団体等に雇用されている方） 4. 家事従事者 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）	
問4. 居住地区	1. 五泉地区	2. 村松地区
問5. 市内での 居住年数	1. 5年未満	2. 5年以上10年未満
	3. 10年以上20年未満	4. 20年以上30年未満
	5. 30年以上	
問6. 家族構成	1. 単身（ひとり暮らし） 2. 一世代（夫婦のみ） 3. 二世代（親と子） 4. 三世代（親と子と孫） 5. 兄弟姉妹 6. その他（ ）	

2. 五泉市での住み心地について、おたずねします

問7. あなたは、五泉市に愛着を感じていますか？ ※1つだけに○

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 強い愛着を感じている | 2. ある程度愛着を感じている |
| 3. あまり愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |

問8. あなたは、五泉市は住みやすい市だと思いますか？ ※1つだけに○

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかと言えば住みやすい |
| 3. やや住みにくい | 4. とても住みにくい |
| 5. わからない | |

※前問（問8）で、1または2を選んだ方だけにお聞きします。

問9-1. 住みやすいと感じる理由は何ですか？ ※3つまで○

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 自然が豊か | 2. 災害が少ない |
| 3. 交通の便がよい | 4. 農林水産物に恵まれ食が豊か |
| 5. 買い物が便利 | 6. 人情がある |
| 7. 集落や町内会組織が充実している | 8. 犯罪が少ない |
| 9. 老後も安心して生活ができる | 10. 安心して子育てができる |
| 11. 歴史や伝統がある | 12. 教育機関が整っている |
| 13. 働く場が豊富である | 14. 文化施設が整い、催しも多い |
| 15. 医療施設や福祉サービスが整っている | |
| 16. 道路や下水道などの生活基盤が整っている | |
| 17. スポーツ・レクリエーション施設が充実している | |
| 18. 娯楽やレジャー施設が整っている | 19. 地域活動に参加しやすい |
| 20. 市民参加や情報公開が進んでいる | 21. 行政サービスが充実している |
| 22. その他 () | |

※前問（問8）で、3または4を選んだ方だけにお聞きします。

問 9-2. 住みにくいと感じる理由は何ですか？ ※3つまで○

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 年々自然が失われていく | 2. 防災体制に不安がある |
| 3. 交通の便がよくない | 4. 新鮮で安心な食料が入手しにくい |
| 5. 買い物に不便である | 6. 人情味をあまり感じない |
| 7. 集落や町内会組織があまりない | 8. 防犯体制に不安がある |
| 9. 老後の生活が不安である | 10. 子育てしにくい環境である |
| 11. 歴史や伝統が失われていく | 12. 教育機関が不十分である |
| 13. 魅力ある働く場が少ない | 14. 文化施設が不十分で催しが少ない |
| 15. 医療施設や福祉サービスが不十分である | |
| 16. 道路や下水道などの生活基盤が不十分である | |
| 17. スポーツ・レクリエーション施設が不十分である | |
| 18. 娯楽やレジャー施設が少ない | 19. 地域活動に参加しにくい |
| 20. 市民参加や情報公開が遅れている | 21. 行政サービスが不十分である |
| 22. その他（ | ） |

問 10. これからも五泉市に住み続けたいと思いますか？ ※1つだけに○

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい |
| 3. 一時的に市外へ引っ越すが、将来は五泉市に戻ってきたい | |
| 4. おそらく市外に引っ越すことになる | 5. 市外に引っ越したい |

※前問（問 10）で、1～3に○を選んだ方だけにお聞きします。

問 11-1. 住み続けたい、戻ってきたい理由は何ですか？ ※1つだけに○

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 現在の生活に満足しているから | 2. 仕事があるから |
| 3. 学校があるから | 4. 家族がいるから |
| 5. 土地や家があるから | 6. その他（ |

※前問（問 10）で、4 または 5 を選んだ方だけにお聞きします。

問 11-2. 市外に引っ越す理由は何ですか？ ※1つだけに○

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現在の生活に不満があるから |
| 2. 仕事の都合で一時的に五泉市に住んでいるだけだから |
| 3. 市外で仕事の予定（仕事をしたい）があるから |
| 4. 市外に進学の予定（進学したい）があるから |
| 5. その他（ |

3. 五泉市が取り組んでいる施策について、おたずねします

五泉市では、4つの柱（目標）に沿って人口減少対策に取り組んでいます。各施策に関して、現在の「①満足度」と今後の「②重要度」についてあてはまるものをそれぞれ1つずつ○をつけてください。

問12. 基本目標Ⅰ「未来世代を守り育てる」について

若い世代が希望通り結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、出会いから結婚、出産、子育てに至る切れ目のない支援を充実するとともに、職場や地域など、社会全体で子育てを支える環境づくりを進めています。

基本方針	施策	区 分 内 容	①満足度					②重要度				
			満 足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不 満	わ か ら な い	重 要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わ か ら な い
1 結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援	①出会いの場の創出	結婚を希望する男女の出会いの場となるイベントの情報発信を行い、未婚や晩婚化への対策を強化しています。 ●縁結び支援事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②出産・子育ての負担軽減	妊産婦や子どもに対する医療費助成などを行い、子育て世帯への負担軽減に向けた子育て支援施策の強化を図っています。 ●妊産婦医療費助成事業 ●ファミリー子育て応援バスポート事業等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③子育て環境の充実	働きながら子育てできる環境づくりを促進するとともに、地域や社会全体で子育てを支えるまちづくりを目指しています。 ●放課後児童健全育成事業 ●ファミリーサポートセンター運営事業等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 教育の充実	①特色ある教育	豊かな人間性と確かな学力を身に付けられるよう、教育の充実を図っています。 ●寺子屋事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他に必要と思う取り組みがあればご記入ください												

問13. 基本目標Ⅱ「産業の活力を高める」について

豊かな自然と確かな技術力の中で培われてきた五泉の産業を更に強化し、ブランド力の向上や販路拡大、雇用の創出を図っています。

基本方針	施策	区 分 内 容	①満足度					②重要度				
			満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
1 五泉ブランドの競争力強化	①新しい力による農業の振興	新たな農業の担い手育成や生産技術向上への支援などを行い、農業の経営基盤や五泉ブランドの強化・充実を図っています。 ●五泉で農業やってみ隊支援事業 ●さといも栽培省力化推進事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②産学官連携による農業の振興	新潟大学農学部や農家、企業と連携し、農産物の高付加価値化やブランド化を目指しています。 ●新大&五泉ブランド化事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③五泉ニットの活力・魅力向上	全国屈指のニット産地として、技術の継承や企画力強化に向けた人材育成、販路開拓により地域ブランドの確立を目指しています。 ●五泉ニット地域ブランド化事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 産業振興と就業環境の創出	①多様な就業環境の創出	若年者の就労に向けた支援や取り組みを進めるとともに、企業支援や五泉の資源を活かした企業誘致により、雇用の創出を図っています。 ●若年者職業的自立支援事業 ●企業誘致推進事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②地場産業育成・支援	地場産業の育成による地域経済の活性化や雇用の創出、農業の生産向上による農業の活性化、魅力向上を図っています。 ●経済活性化推進事業 ●水田農業構造改革対策事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他に必要と思う取り組みがあればご記入ください												

問14. 基本目標 Ⅲ 「五泉の魅力をつなげる」について

既存の地域資源や人材を最大限に活かし、持続可能な交流の輪を広げ、市外からの吸引力を高めています。また、五泉ブランドの認知度を高めるための広報戦略を展開し、産官が一体となって地域の経営力を培っています。

基本方針	施策	区 分 内 容	①満足度					②重要度				
			満 足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不 満	わ か ら な い	重 要	やや重 要	あまり重要でない	重要でない	わからない
1 地域の特性を活かした交流の推進	①地域資源の活用と観光の推進	多彩な地域資源を活かしたイベント実施によって通年的に人の流れをつくり、継続的な交流・観光を推進しています。 ●ごせん桜アロマ事業 ●合宿誘致促進事業 ●複合施設建設事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②シティプロモーションの推進	情報発信の強化により、五泉市のイメージ・知名度の向上を図り、交流人口拡大、移住・定住者の増加を目指しています。 ●五泉市プロモーション事業 ●観光振興事業（観光PR事業）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 地域の魅力を活かした移住の推進	①移住・定住の促進	若い世代のU・Iターンを促進するための取り組みを強化し、転出の抑制と移住・定住者の増加を目指しています。 ●Uターン・Iターン等促進事業 ●ウェルカムファミリー住まいる事業 ●地域おこし協力隊事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他に必要と思う取り組みがあればご記入ください												

問15. 基本目標Ⅳ「確かな暮らしを充たす」について

誰もがいきいきと安心して暮らすことのできる五泉市を未来につなげるため、地域コミュニティの強化や地域を担う人材の育成、健康づくりの推進に努めています。

基本方針	施策	区 分 内 容	①満足度					②重要度				
			満 足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不 満	わ か ら な い	重 要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
1 未来へつながる安全・安心なまちづくり	①防災力の強化	市民の防災意識や防災力の向上を図るため、各種防災訓練や災害情報の収集・発信機能の強化を行っています。 ●防災関係業務 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②健康長寿の推進	生涯にわたり健康に暮らせるよう、健康づくりの推進や健康診査・がん検診への継続した取り組みなどを行っています。 ●こせんまるごとヘルシーガイドブック事業 ●特定健康診査等事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③地域医療の充実	誰もがいつでも身近なところで医療を受けられるよう、地域医療・救急医療体制の確保・充実を図ります。 ●救急医療対策事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④次世代の地域リーダーの育成	未来のまちづくりを担う次世代の地域リーダーの育成、地域づくりや地域の活性化、交流拡大を図ります。 ●元気出せごせん若者ワークショップ事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤公共交通の利便性向上	公共交通の利用促進に取り組み、市内公共交通の維持・確保及び利便性の向上を図ります。 ●地域公共交通活性化・再生総合事業 等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他に必要と思う取り組みがあればご記入ください												

4. 結婚・出産・子育てについて、おたずねします

4-1. 結婚についておたずねします

問16. あなたは結婚されていますか？ ※1つだけに○

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. 結婚している | → 問20へ |
| 2. 結婚していたが今はしていない（死別も含む） | |
| 3. 独身 | |

※前問（問16）で、2. 3を選んだ方だけにお聞きします。

問17. あなたは、結婚したいと思いますか？ ※1つだけに○

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. いつかは結婚したい | 2. すでに結婚が決まっている（予定している） |
| 3. 結婚するつもりはない。 | |

※前問（問17）で、1を選んだ方だけにお聞きします。

問18. あなたが現在独身でいる理由として、次の中から選ぶとしたらどれですか？ ※3つまで○

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 結婚する年齢と感じないから | 2. 結婚する必要性を感じないから |
| 3. 仕事（学業）に専念したいから | 4. 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | |
| 6. 良い相手にめぐり合わないから | 7. 異性とうまく付き合えないから |
| 8. 結婚資金が足りないから | 9. 親や周囲が結婚に同意しないから |
| 10. 十分な収入がないから | |
| 11. その他（ ） | |

※前問（問18）で、1を選んだ方だけにお聞きします。

問19. あなたが最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけはなんですか？ ※3つまで○

- | |
|---------------------------------|
| 1. 結婚資金（挙式や新婚生活の準備のための費用）が用意できた |
| 2. 収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた |
| 3. 自分または相手の仕事の事情 |
| 4. できるだけ早く一緒に暮らしたかった |
| 5. 年齢的に妥当な時期だと感じた |
| 6. できるだけ早く子どもが欲しかった |
| 7. 子どもができた |
| 8. 友人や同年代の人たちの結婚 |
| 9. 親や周囲のすすめ |
| 10. お見合い |
| 11. その他（ ） |

4-2. 出産・子育てについておたずねします

問20. あなたには子どもがいますか? ※1つだけに○

- | | | | |
|--------|---------|-------|-------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 |
| 5. 4人 | 6. 5人以上 | | |

問21. あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか?

※1つだけに○

- | | | | |
|-------------|---------|-------|-------|
| 1. 0人 →問23へ | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 |
| 5. 4人 | 6. 5人以上 | | |

※前問(問21)で、2～6を選んだ方だけにお聞きます。

問22. 【問21】でお聞きした理想的な子どもの人数が、仮に結果的に持てないことがある、もしくは持てない状態にあるとしたら、その原因は何である可能性が高いと思われますか? ※3つまで○

- | |
|--|
| 1. 出産や子育て、教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから |
| 4. 仕事等が忙しく(パートナーとの勤務時間が合わず)、なかなか授かる機会がないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 6. 育児の心理的、肉体的負担が大きいから |
| 7. 高齢のため、今後の妊娠・出産が難しいから |
| 8. 今いる子どもに手がかかるから |
| 9. 欲しいけれども授からないから |
| 10. パートナーが望まないから |
| 11. 行政等の子育て支援が十分でないから |
| 12. 結婚できない(パートナーに巡り合えない)かもしれないから |
| 13. その他 () |

問23. あなたは、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、何が重要だと思いますか？ ※3つまで○

- ※2：フレックスタイム制度とは、出退勤時間を各自の職務内容と身の都合により自由に調節できる制度です。

5. これからのまちづくりに対してのご意見など、ご自由にお書きください

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

10